

録音IP電話機 取扱説明書

このたびは、ネットコミュニティシステム
αNX 録音 IP 電話機をお買い求めいただきま
して、まことにありがとうございます。

- ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお
読みのうえ、内容を理解してからお使いくだ
さい。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどい
つも手もとに置いてお使いください。








安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
 お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
 ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

- 本商品は、ネットコミュニティシステム α NX typeS、typeM、typeL（主装置タイプ）／（サーバタイプ）などのシステムに接続してお使いください。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信、録音などの機会を逸したために生じた損害、または本商品に登録された情報内容の消失などにより生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。
- 本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内に登録または保持されたデータの流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に登録または保持されたデータを取扱説明書の消去方法（●P6）にしたがって消去する必要があります。
- 本商品の設置工事および修理には、工事担当者資格を必要とします。無資格者の工事、修理は違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。
- 本書とともに、必ずご使用になっているネットコミュニティシステム α NX取扱説明書をよく読み理解したうえでお使いください。
- 商品の外観および機能などの仕様は、お客様にお知らせすることなく変更される場合があります。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。
- 本商品は、赤外線データ通信機能として株式会社ACCESSのIrFrontを搭載しています。
 - Copyright ©1996-2008 ACCESS CO., LTD.
 - IrFrontは、株式会社ACCESSの日本ならびにその他の国における登録商標または商標です。

設置について

警告

- 本商品のそばに、水や液体の入った花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品に水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。



- 本商品を次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となります。
 - ・ 直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーなどの近くや屋外などの温度の上がる場所。
 - ・ 調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所。
 - ・ 湿気の多い場所や水・油・薬品などのかかる恐れがある場所。
 - ・ ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所。
 - ・ 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。

お取り扱いについて

警告

- お客様による本商品の設置工事、配線作業、修理、移動などは危険ですから絶対におやめください。本商品の設置工事、配線作業、修理、移動などを行うときは、当社のサービス取扱所にご依頼ください。

- 万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本商品のLANケーブルをLANポートから抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

- 万一、本商品を落としたり、破損した場合は、すぐに本商品のLANケーブルをLANポートから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

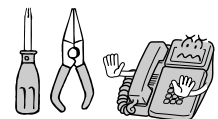
- 本商品から異常音がしたり、熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本商品のLANケーブルをLANポートから抜いて、当社のサービス取扱所に点検をご依頼ください。

- 本商品に水をかけたり、ぬれた手で操作やLANケーブルの抜き差しをしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- 本商品のすきまなどから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本商品のLANケーブルをLANポートから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- 万一、本商品の内部に水などの液体が入った場合、すぐに本商品のLANケーブルをLANポートから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

- 本商品を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検・調整・清掃・修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください(分解、改造された本商品は修理に応じられない場合があります)。




安全にお使いいただくために必ずお読みください

警告

- 本商品のLANケーブルを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりするとLANケーブルが破損し、火災・感電の原因となることがあります。LANケーブルが傷んだら、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
- 本商品のLANケーブルが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本商品のLANケーブルをLANポートから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
- 本商品やLANケーブルを熱器具に近づけないでください。本商品やLANケーブルの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品のLANケーブルをLANポートから抜くときは、必ずコネクタを持って抜いてください。LANケーブルを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。
- 近くに雷が発生したときは、本商品のLANポートからLANケーブルを抜き、ご使用を控えてください。雷による火災・感電の原因となることがあります。
- お客様が用意された機器を本商品に接続してお使いになる場合は、あらかじめ当社のサービス取扱所にご確認ください。確認できない場合は絶対に接続してお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品の底面部は、放熱のため温度が上昇しますので、カーペットやソファなどの上に放置しないでください。火災の原因となることがあります。

設置について

注意

- 本商品は次のような場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。
 - ・ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所。
 - ・振動、衝撃の多い場所。
- 本商品を壁掛け設置する場合は、専用の取り付け用品によりしっかりと固定設置してください。固定が不十分な場合、落下、転倒の原因となることがあります。

お取り扱いについて

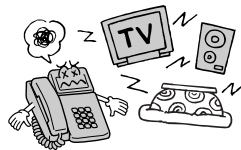
注意

- 本商品の上に重い物をのせないでください。バランスがくずれて落下やけがの原因となることがあります。
- 本商品に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。
- 本商品の底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。
- 本商品をお手入れするときは、安全のため必ずLANポートからLANケーブルを抜いて行ってください。
- 受話音量を明瞭モードに切り替えて、音量を大きくしたまま使用すると、聴力障害の原因となることがあります。

設置場所について

STOP お願い

- 本商品を電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（コンピュータ、電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、ファクシミリ、蛍光灯、ワープロ、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。



- ・ 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- ・ テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- ・ 放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、本商品の設置場所を移動してみてください。

- 本商品は平らな面に置いてお使いください。落下や故障の原因となることがあります。

- 硫化水素が発生する場所（温泉地）や、塩分の多いところ（海岸）などでは、本商品の寿命が短くなることがあります。

お取り扱いについて

STOP お願い

- 本商品をぬれたぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の变色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。



- 停電のときは、停電用電話機を使用してください。

- ・ 本商品は使えません。

- ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示のご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報通知サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。

- ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示を利用して着信拒否を設定している場合は、緊急の件でも着信音は鳴りませんのでご注意ください。

- ハンドセットを逆方向に掛けないでください。正常に動作できないことがあります。

- LANケーブルを引っ張らないでください。故障の原因となることがあります。

- LANケーブル、ハンドセットコードは電話機底面の溝から外さないでください。

- 本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。



- 110番、119番、118番などからの緊急呼び返しを受けた場合でも、留守番電話が応答してしまうことがあります。

- 赤外線通信が正常に行えるように、赤外線受光部（●P11）は下記の点に注意して取り扱ってください。

- ・ 汚れた手や油のついた手で赤外線受光部に触れないでください。
- ・ 赤外線受光部をベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。汚れた場合は、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼってふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。かたい布ではふかないでください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

廃棄（または譲渡、返却）される場合のご注意

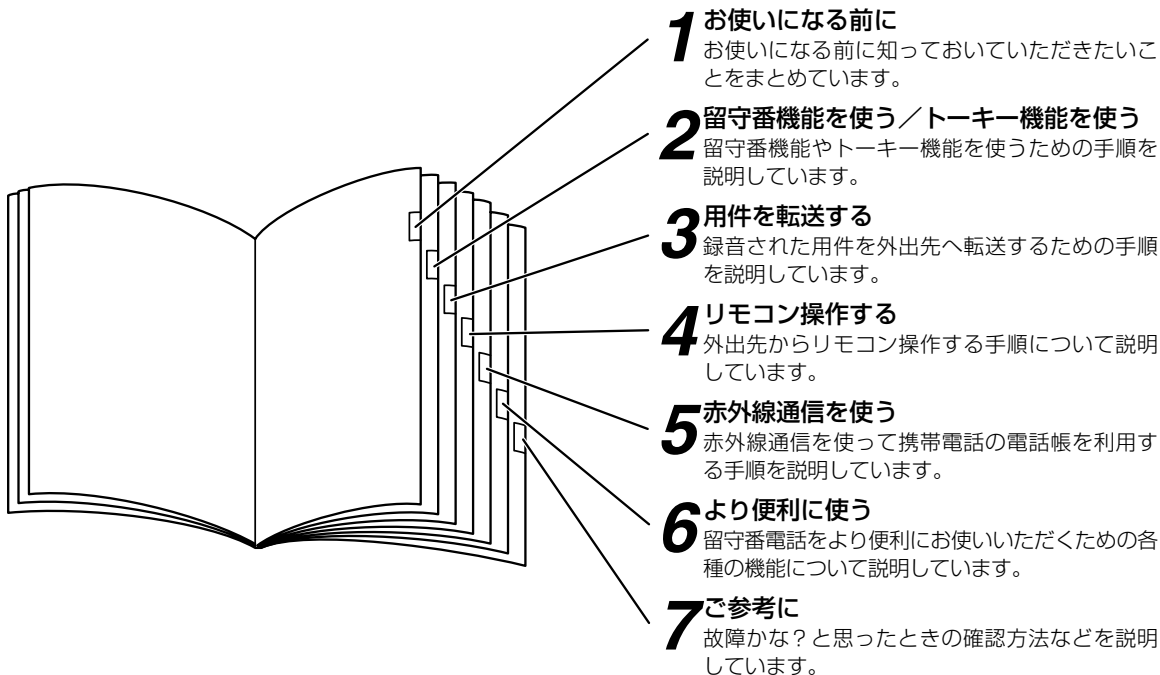
本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内に登録または保持されたデータの流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に登録または保持されたデータを下表にしたがって消去する必要があります。

記録内容	処置（取扱説明書参照ページ）
用件メッセージ／通話中録音／応答メッセージ録音	内蔵メモリのフォーマットを行ってください。（●P59）
転送先電話番号／暗証スキップ電話番号／暗証番号	留守機能データクリアを行ってください。（●P60）

この取扱説明書の見かた

この取扱説明書は、録音IP電話機でご利用になれる留守・録音機能などについて説明しています。その他の機能や登録・設定については、ネットコミュニティシステム αNX標準電話機の操作と同様にご利用いただけます。詳しくはご使用になっているネットコミュニティシステム αNXなどの取扱説明書をご覧ください。

この取扱説明書の構成

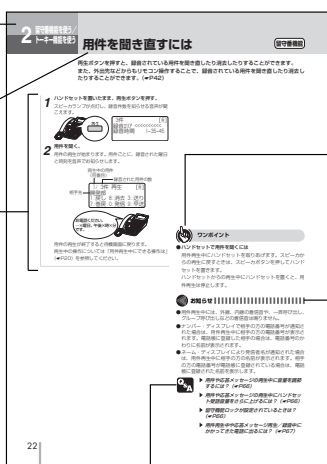


操作説明のページの構成

章タイトル
章ごとにタイトルが付けられています。

タイトル
目的ごとにタイトルが付けられています。

操作手順説明
順番に操作を説明しています。



ワンポイント
知っておくと便利な事項、操作へのアドバイスなどの補足説明を示しています。

お願いまたはお知らせ
〈お願い〉
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
〈お知らせ〉
この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。



「6 より便利に使う」にQ&A形式で詳しく説明している事項を示しています。

目次

安全にお使いいただくために必ずお読みください	2
この取扱説明書の見かた	7

1 お使いになる前に

特長	9
セットを確認してください	10
各部の名前	11

2 留守番機能を使う／トーキー機能を使う

留守番機能とトーキー機能でできること	15
留守番機能を使うには	17
留守をセットするには	18
留守を解除するには	20
用件を聞き直すには	22
折り返し電話をかけるには	23
用件を消去するには	24
1件ずつ消去する	24
すべての用件を消去する	25
自分の声で応答メッセージを録音するには (応答メッセージ録音)	26
用件や応答メッセージを再生できないようにするには (留守機能ロック)	28
トーキー機能を利用するには	29
タイマで自動的に留守やトーキーをセットするには (タイマ留守設定)	30
留守番機能／トーキー機能を便利に使うには	32

3 用件を転送する

用件を外出先へ転送するには	33
転送の準備と流れ	33
転送の利用例	33
転送先の電話番号を登録するには	34
転送をセットするには	36
転送先で用件を受けるには	38

4 リモコン操作する

リモコン操作でできること	39
リモコン操作するには	40
リモート操作ガードを解除する	40
暗証番号を登録する	41
外出先などから用件を聞くには	42
対話形式でリモコン操作する	42
番号でリモコン操作する(ダイレクトリモコン)	43
番号でできるリモコン操作 (ダイレクトリモコン操作番号)	44
外出先などから留守をセットするには	45
暗証番号を入力しないで用件を聞けるようにするには	46

5 赤外線通信を使う

赤外線通信を使うには	47
携帯電話の電話帳で電話をかけるには	48
携帯電話の電話帳を主装置の電話帳に登録するには	49

6 より便利に使う

相手の方のお話を録音するには (通話中録音)	50
通話中のお話を録音する	50
通話中録音を再生する	51
録音されている用件をお話し中の相手の方と聞くには (通話中再生)	52
相手の方を確かめてから電話に出るには (居留守応答)	53
SDカードを利用するには	54
SDカードについて	54
用件のバックアップを作成する	55
通話中録音のバックアップを作成する	56
応答メッセージのバックアップを作成する	57
応答メッセージをリストアする	58
内蔵メモリやSDカードの内容をすべて消去するには	59
お買い求め時の設定に戻すには (留守機能データクリア)	60
いろいろな機能を登録・設定するには	61
登録・設定操作の流れ	61
録音IP電話機設定(メインメニュー)の登録・設定 機能一覧	62
Q&A	66
音量	66
登録・設定操作	66
表示	67
通話	67

7 ご参考に

停電になったときは	68
こんな音がしたら	69
故障かな?と思ったら	70
索引	73
仕様/保守サービスのご案内	76
録音IP電話機取扱説明書ダイジェスト	77

すぐに使える留守番機能／トーカー機能

応答メッセージなどの準備をしなくてもすぐに留守番電話として使えます。(●P15、17)

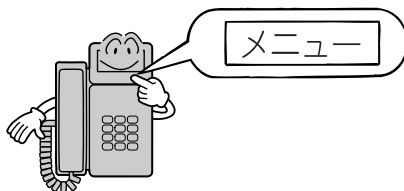
最大録音時間：約2時間

また、留守番電話だけでなく応答メッセージだけを流すように設定できます。(●P15、29)



メニューによる簡単操作

ディスプレイに表示される操作メニューを見ながら、録音・再生や登録・設定が簡単に行えます。



通話中録音ができます

相手の方とのお話し中の会話を録音することができます。(●P50)



便利なりモコン操作

外出先からリモコン操作で、留守番機能をセットしたり、留守中に録音された用件を聞くことができます。(●P39)



携帯電話の電話帳が使えます

赤外線通信により、携帯電話の電話帳を利用して電話をかけたり、主装置の電話帳に登録したりすることができます。(●P48、49)

SDカードを利用して録音ファイルを管理

市販のSDカードを利用して、通話中録音を録音したり、用件や通話中録音のバックアップを保存したりできます。

また、応答メッセージのバックアップを保存して、他の録音IP電話機で利用することもできます。

セットを確認してください

■ 本体 (1台)



■ 付属品



取扱説明書 (1部)

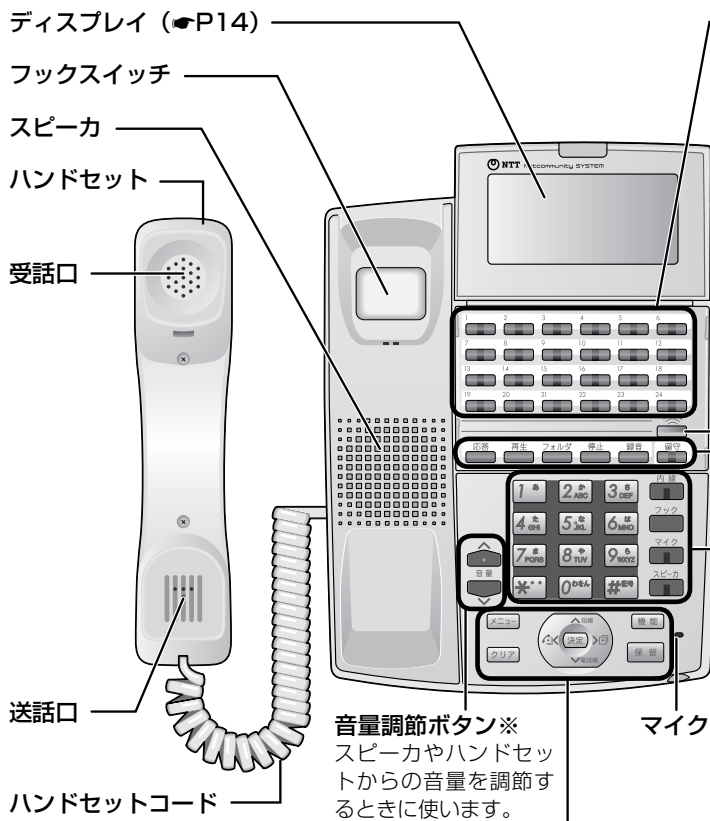


「NTT通信機器お取扱相談センター」
シール (1枚)

●セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所へご連絡ください。

各部の名前

【前面】



回線ボタン
「システム設定」により、これらのボタンに外線ボタンやワンタッチボタン、サービスボタンなど、さまざまな機能を割り当てて使います。

赤外線受光部
携帯電話と赤外線通信を行うときに使います。

応答ボタン*
応答メッセージの録音や選択に使います。(P18、26)

再生ボタン*
用件メッセージや通話中録音を再生するときに使います。(P20、22、51、52)

フォルダボタン*
通話中録音の録音先選択や、再生する録音ファイル選択に使います。(P50、51、52)

停止ボタン*
用件や応答メッセージの再生を停止するときに使います。(P20、52)

録音ボタン*
通話中録音に使います。(P50)

留守ボタン*
留守をセットまたは解除するときに使います。(P18、20)

メニューボタン
メニュー設定を行うときに使います。

クリアボタン
文字を消去するときや、1つ前の画面に戻るときに使います。

決定ボタン
いろいろな機能を登録するときや、選択した項目や入力した内容などを確定するときに使います。また、外線通話や転送の操作などにも使います。

上下左右ボタン
カーソルの移動、画面のスクロールや、かなを漢字に変換するときなどに使います。

- ・ **上ボタン、短縮ボタン**
カーソルを上移動するときや、電話帳メモリ検索で電話をかけるときなどに使います。
- ・ **下ボタン、電話帳ボタン**
カーソルを下移動するときや、電話帳検索画面を表示させるときなどに使います。
- ・ **左ボタン、着信履歴ボタン***
カーソルを左移動するときや、着信履歴を表示させるときなどに使います。
- ・ **右ボタン、発信履歴ボタン***
カーソルを右移動するときや、発信履歴を表示させるときなどに使います。

機能ボタン
他のボタンと組み合わせて、いろいろな機能を登録するときなどに使います。

保留ボタン
相手の方とのお話しを保留するときに使います。

ダイヤルボタン*
内線ボタン
内線でお話しするときや、いろいろな登録操作をするときに使います。

フックボタン
キャッチホンなどで使います。

マイクボタン
マイクのオン、オフを切り替えるときや、ハンドセットを置いたままで内線の呼び出しに回答するときに使います。

スピーカボタン
相手の方の声をスピーカで聞くとときや、ハンドセットを置いたまま電話をかけるときなどに使います。

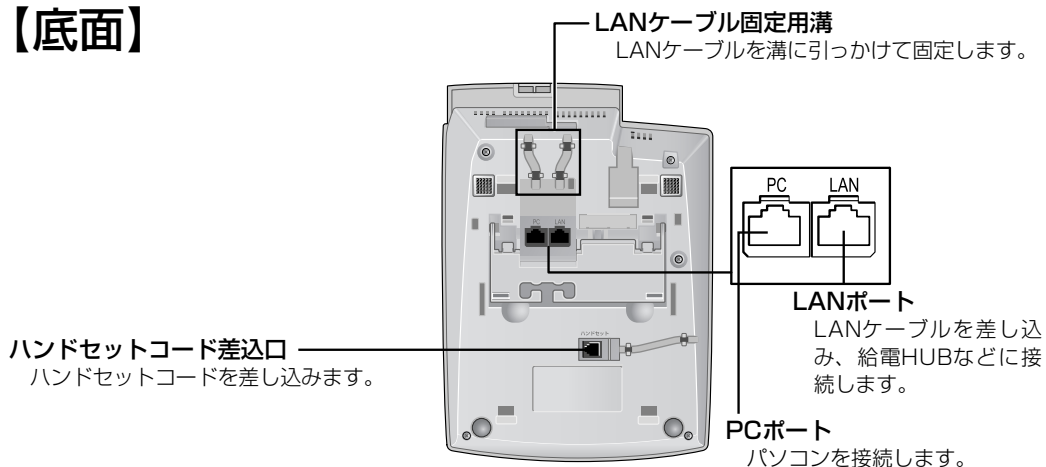
*印のボタンは録音IP電話機固有のもので、他のボタンはネットコミュニティシステム αNX 標準電話機と共通で、操作方法も同じです。

*ダイヤルボタン [5]、音量調節ボタンの への部分、左ボタン、右ボタンに突起が付いていますが、この突起は目のご不自由な方の操作を容易にするためのものです。

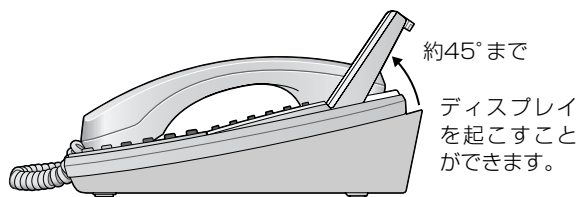
各部の名前

LAN上に内線電話機として、録音IP電話機を接続することができます。

【底面】



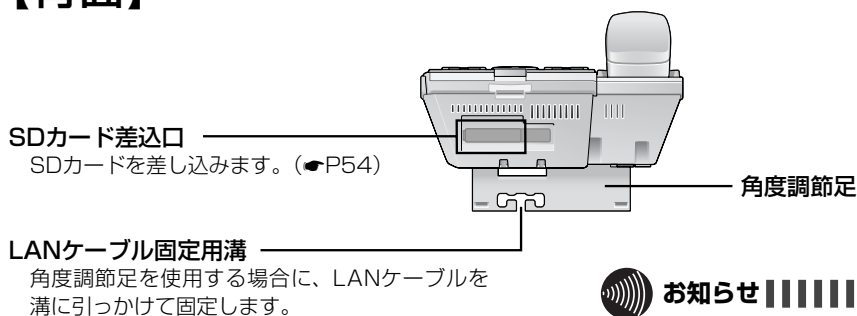
【右側面】



STOP お願い

- ディスプレイを無理に起こしたり、動かしたりしないでください。
- PCポートに、主装置に接続したLANケーブル（HUB経由のLANケーブルを含む）を接続しないでください。

【背面】



ワンポイント

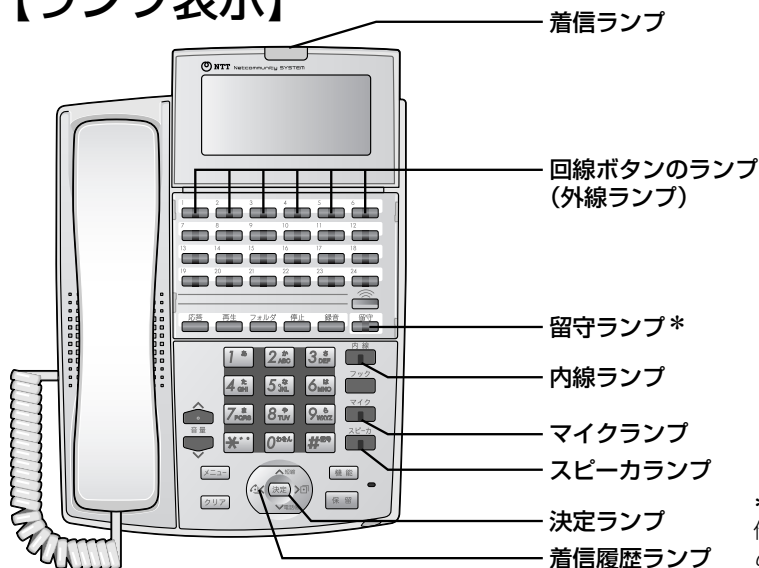
- 電話機の設置角度を調節するには、底面にある角度調節足を出します。



お知らせ

- LANケーブル固定用溝にLANケーブルを固定し、本商品を設置したときに本商品がぐらつく場合は、角度調節足を出してお使いください。
- 給電HUBを使用できないときは、電源アダプタ（オプション）を使用してください。
- 録音IP電話機では、主装置の設定による保留音の切り替えができません。
- 録音IP電話機では、保留音を設定することはできません。
- 録音IP電話機では、録音ジャックユニット（オプション）を使用することはできません。

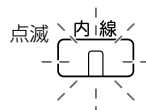
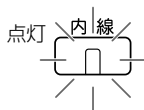
【ランプ表示】



*印のランプは録音IP電話機固有のもので、他のランプはネットコミュニティシステム αNX標準電話機と共通です。

■ ランプの表記について

この取扱説明書では、ランプについて右のように表します。



ランプの種類	ランプのつきかた (色)	電話機の状態
着信ランプ	点灯 (赤)	留守セット中に用件が録音されているとき／音声メール通知を受け取ったとき
	点滅 ^{※1}	電話がかかってきたとき
外線ランプ	点灯中、周期的に2回消える (緑)	自分の電話機でお話し中のとき
	点灯 (赤)	他の内線電話機が外の相手の方とお話し中のとき
	点滅 (緑)	外線通話の転送によって呼び出されているとき
	点滅 (赤) ^{※2}	電話がかかってきたとき
	遅い点滅 (約1秒周期) (赤)	他の内線電話機で保留中のとき
留守ランプ*	周期的に2回点灯 (緑)	自分の電話機で外の相手の方のお話しを保留中のとき
	点灯 (赤)	留守がセットされているとき
	遅い点滅 (赤)	留守セット中に用件が録音されているとき
内線ランプ	点滅 (赤)	内線で呼び出されているとき
	点灯中、周期的に2回消える (緑)	自分の電話機で内線通話をしているとき
	周期的に2回点灯 (緑)	自分の電話機で保留中のとき
マイクランプ	点灯 (赤)	マイクがオンのとき
決定ランプ	点灯 (赤)	通話を保留中で、転送できないとき
スピーカランプ	点灯 (赤)	スピーカを使用しているとき
着信履歴ランプ	点灯 (赤)	ディスプレイに着信履歴を表示しているとき
	周期的に2回点灯 (赤) ^{※3}	着信履歴を確認していない不在着信があるとき

*印のランプは録音IP電話機固有のもので、他のランプはネットコミュニティシステム αNX標準電話機と共通です。
^{※1} 共通／個別電話帳のグループ単位に、点滅色を設定することができます。登録・設定については、ご使用になっている主装置の取扱説明書をご覧ください。本書では、着信ランプを初期値の赤色を使用した例で記載します。
^{※2} 保留警報時、ダイヤルイン着信時などの場合は緑色になります。
^{※3} メニュー設定によって、点灯させる／させないを設定することができます。

各部の名前

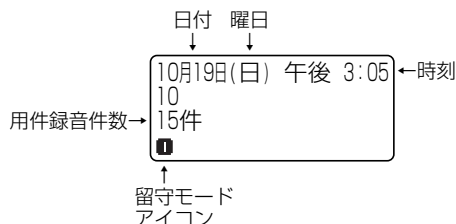
【ディスプレイの見かた】

この取扱説明書では、録音IP電話機の機能に関する表示について説明しています。

また、この取扱説明書では、ネットコミュニティシステム αNX typeSまたはtypeM接続の場合の表示を例として記載しています。ネットコミュニティシステム αNX typeL（主装置タイプ）／（サーバタイプ）接続の場合は表示が異なる場合があります。

■留守をセットしたときの表示

〈例〉10月19日日曜日午後3時5分、用件録音15件の場合の待機画面



●留守モードアイコン

応答メッセージ1（留守）		応答メッセージ1（トーカー）	
応答メッセージ2（留守）		応答メッセージ2（トーカー）	
内蔵応答メッセージ（留守）		内蔵応答メッセージ（トーカー）	



ワンポイント

●ディスプレイのバックライトを点灯させるには

メニュー設定により、ディスプレイの照明を点灯させて、より見やすくすることができます。常時点灯、またはボタン操作をしたときに点灯するように設定することができます。



お知らせ

●録音機能の表示内容がネットコミュニティシステム αNX標準電話機で表示される内容よりも優先されます。

おもに外出中に電話をかけてきた相手の方に対して、外出したことを伝えたり（トーカー機能）、用件を録音（留守番機能）できます。留守番機能とトーカー機能を使って次のようなことができます。

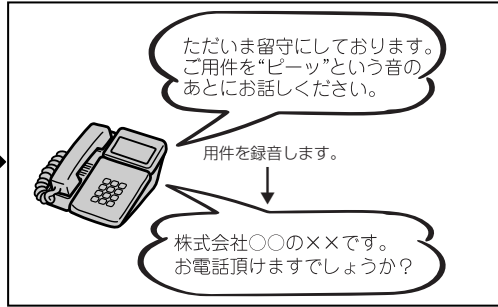
1 前に
お使いになる

2 留守番機能を使う/
トーカー機能を使う

留守番機能とトーカー機能でできること
各部の名前

■ 留守番機能 (P17)

応答メッセージで答えるとともに、用件の録音を行う場合の使いかたです。



*自分の声で応答メッセージを録音するには (P26)

■ トーカー機能 (P29)

1回または繰り返し応答メッセージで答えます。用件の録音を行う必要のない場合の使いかたです。

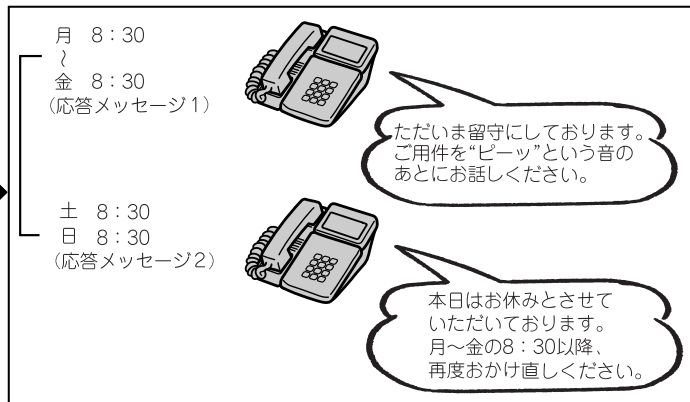


*用件録音はできません。

*自分の声で応答メッセージを録音するには (P26)

■ 留守番機能とトーカー機能を同時に使う (P29)

応答メッセージを選択することで、留守番機能とトーカー機能を切り替えて使用することができます。また、タイム留守設定を利用することで、留守機能とトーカー機能を曜日や時間で切り替えて使用することができます。



応答メッセージ1,2を設定している例です。

留守セット・留守解除 (●P18、20)

外出するときや席を離れるときに留守番機能をセットできます。ボタン1つ押すだけで留守番電話をセット・解除できます。

応答メッセージ録音 (●P26)

自分の声で録音したメッセージを応答メッセージとして使用することができます。応答メッセージが録音されていない場合は、内蔵メッセージ（固定メッセージ）が使用されます。

用件再生中にできること

再生ボタンを押して用件を再生すると、次のようなことができます。

- ・ **用件を聞き直す (●P22)**
録音されている用件の聞き直しをすることができます。
これは、リモコン操作からも行うことができます。
- ・ **用件の消去 (●P24)**
録音されている用件から不要な用件を消去することができます。
これは、リモコン操作からも行うことができます。
- ・ **用件を利用して折り返し電話をかける (●P23)**
録音されている用件に電話番号が記憶されている場合、その番号に簡単な操作で電話をかけることができます。

留守機能ロック (●P28)

再生ボタン、応答ボタン、留守ボタンを押しても、用件や応答メッセージが再生されないように使用制限の設定をすることができます。

タイマ留守設定 (●P30)

指定した曜日、時刻になると、自動的に留守番機能やトーカー機能をセットするように設定できます。

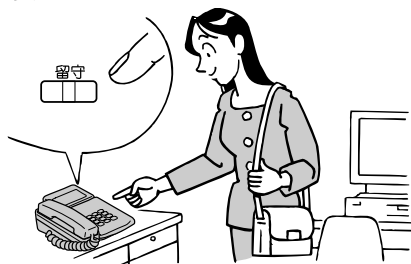
留守番機能を使うには

留守番機能では、外出中に電話をかけてきた相手の方に対して外出の旨を伝え（応答メッセージ）、用件を録音していただくことができます。録音IP電話機に内蔵されている応答メッセージを利用すれば、すぐに留守番機能を使えます。また、自作の応答メッセージを録音して利用することもできます。

●外出するとき

留守をセットする

録音IP電話機の留守ボタンを押して、留守をセットします。



■留守をセットする

留守をセットするには (●P18)
タイムで自動的に留守をセットするには (●P30)

■利用できる応答メッセージ

●内蔵メッセージ

録音IP電話機には、すぐに利用できる2種類の応答メッセージが内蔵されています。

〈応答録音メッセージ〉

「ただいま留守しております。ご用件を“ピーツ”という音のあとにお話してください。」

〈応答専用メッセージ〉

「ただいま留守しております。のちほどおかけ直してください。」

●自作のメッセージ

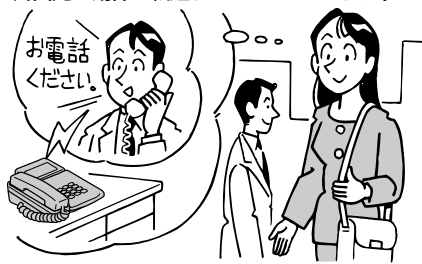
自分の声で、2種類の応答メッセージ（応答メッセージ1、応答メッセージ2）を録音することができます。(●P26)

外出先や他の内線電話機からも、応答メッセージを録音することができます。(●P42)

●外出中

用件が録音される

留守中でも自動的に電話がつながり、用件が録音されます。外出先へ用件を転送することもできます。(●P33)



■相手の方の用件録音

着信音が聞こえます。

自動的に電話がつながり、「ただいま留守にしております。…」などの応答メッセージが流れます。

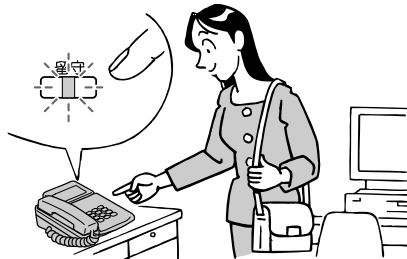
「ピーツ」という音のあとに、相手の方がお話しした用件が録音されます。

電話を切ると、録音された曜日と時刻が自動的に記録されます。

●帰社したら

用件を聞く

外出中に用件が録音されていると、録音IP電話機の着信ランプが点灯し、留守ランプがゆっくりと点滅して、ディスプレイに録音された用件の件数が表示されます。留守を解除して録音された用件を聞きます。また、他の内線電話機から、リモコン操作を用いることで録音された用件を聞くこともできます。



■留守を解除する

留守を解除するには (●P20)

■用件を聞き直す

用件を聞き直すには (●P22)
外出先などから用件を聞くには (●P42)

ワンポイント

● 応答メッセージを選択するには (●P18)

● 外出先または内線電話機からリモコン操作するには

外出先または内線電話機から用件を聞くことができます。(●P42) また、留守番電話のセットを忘れて外出したときは、リモコン操作で留守番電話をセットすることができます。(●P45)

 お知らせ

- 留守セットしている場合は、録音機能の表示内容がネットコミュニティシステム αNX標準電話機で表示される内容よりも優先されます。
- 留守セット中には、アラーム設定は行わないでください。
- 留守セット中に着信があった場合には、音量調節ボタン、スピーカボタン、外線ボタンおよび内線ボタン以外のボタンは使用できません。
- お買い求め時は、アキュムレート録音が「無し」に設定されています。留守をセットすると、録音されている用件がすべて消去されます。消去されないようにする場合は、アキュムレート録音を「有り」に設定します。(☛P32、62)
- 留守セット中に録音が満杯になると、用件が録音できなくなり、応答専用メッセージに切り替えられます。
- 録音中に満杯になると、録音を終了し、電話が切れます。
- 音楽などの連続した音が検出されると、録音を停止することがあります。
- ドアホンからの呼び出し、音声呼び出し、一斉／グループ呼び出しへの応答、録音はできません。
- 自動応答回線設定 (☛P62) の回線をすべて「しない」に設定した場合は、留守ボタンを押したときに留守ランプは点灯しますが、電話がかかってきたときに留守応答しません。



▶ 録音可能時間を確認するには？ (☛P67)

留守を解除するには

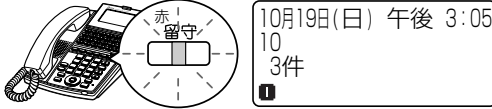
留守番機能

外出中に用件が録音されていると、録音IP電話機の着信ランプが点灯し、留守ランプが点滅して、ディスプレイには録音された用件の件数が表示されています。留守ボタンを押して留守を解除すると、録音されている用件が再生されます。

また、外出先などからもリモコン操作することで留守を解除することができます。(●P42)

〈例〉3件の用件が録音されているとき

1 留守ランプが点滅する。



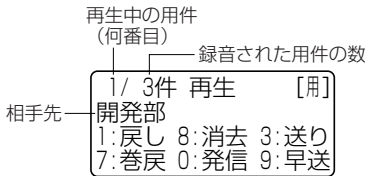
2 ハンドセットを置いたまま、点滅している留守ボタンを押す。

スピーカランプが点灯し、「3件です。」という音声がかかります。



3 用件を聞く。

録音件数を案内する音声が終わると、用件の再生が始まります。用件ごとに、録音された曜日と時刻を音声でお知らせします。



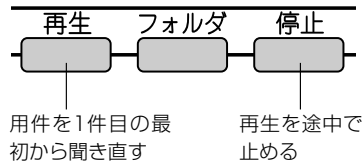
お電話ください。
…×曜日、午後×時×分
です。

用件の再生が終了すると待機画面に戻ります。
再生中の操作については「用件再生中にできる操作は」
(●右記)を参照してください。



ワンポイント

●用件再生中にできる操作は



また、次の操作も行えます。

- 0** **PRE** (発信) : 表示されている相手先に電話をかける
- 1** **R** (戻し) : 再生開始後3秒以内に押すと、再生中の用件の1つ前の用件をもう一度再生。再生開始後3秒以降に押すと、再生中の用件を最初から再生する
- 3** **DEF** (送り) : 次の用件を再生する
- 7** **FOR** (巻き戻し) : 1回押すごとに再生中の用件を5秒ずつ巻き戻す
- 8** **DEL** (消去) : 再生中の用件を1件のみ消去する
- 9** **FAST** (早送り) : 1回押すごとに再生中の用件を5秒ずつ早送りする
- *** **PAUSE** (一時停止) : 再生を一時停止する

●ハンドセットで用件を聞くには

用件再生中にハンドセットを取りあげます。スピーカからの再生に戻すときは、スピーカボタンを押してハンドセットを置きます。

ハンドセットからの再生中にハンドセットを置くと、用件再生は停止します。



お知らせ

- 1秒以下の用件は録音されません。
- 無音検出 (☛P62) を設定しているときは、相手の方が約10秒間何も話さなかったり、声が小さすぎると、自動的に録音を終了させます。このときも1秒以上の録音があると用件の1件として数えられます。
- 応答メッセージの途中で相手の方が電話を切ってしまった場合も、用件の1件として数えられることがあります。
- 外線または内線を使用しているときや、電話がかかってくるときは、留守を解除できないことがあります。
- 用件再生中には、外線、内線の着信音や、一斉呼び出し、グループ呼び出しなどの着信音は鳴りません。
- ナンバー・ディスプレイで相手の方の電話番号が通知された場合は、用件再生中に相手の方の電話番号が表示されます。電話帳に登録した相手の場合は、電話番号のかわりに名前が表示されます。
- ネーム・ディスプレイにより発信者名が通知された場合は、用件再生中に相手の方の名前が表示されます。相手の方の電話番号が電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録された名前を表示します。



- ▶ 用件や応答メッセージの再生中に音量を調節するには？ (☛P66)
- ▶ 用件や応答メッセージの再生中にハンドセット受話音量をさらに上げるには？ (☛P66)
- ▶ 留守機能ロックが設定されているときは？ (☛P66)
- ▶ 用件再生中や応答メッセージ再生／録音中にかかってきた電話に出るには？ (☛P67)

用件を聞き直すには

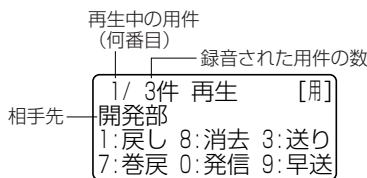
留守番機能

再生ボタンを押すと、録音されている用件を聞き直したり消去したりすることができます。また、外出先などからもリモコン操作することで、録音されている用件を聞き直したり消去したりすることができます。(●P42)

- 1** ハンドセットを置いたまま、再生ボタンを押す。
スピーカランプが点灯し、録音件数を知らせる音声がかかります。



- 2** 用件を聞く。
用件の再生が始まります。用件ごとに、録音された曜日と時刻を音声でお知らせします。



お電話ください。
...×曜日、午後×時×分
です。



用件の再生が終了すると待機画面に戻ります。
再生中の操作については「用件再生中にできる操作は」(●P20)を参照してください。



ワンポイント

- **ハンドセットで用件を聞くには**
用件再生中にハンドセットを取りあげます。スピーカからの再生に戻すときは、スピーカボタンを押してハンドセットを置きます。
ハンドセットからの再生中にハンドセットを置くと、用件再生は停止します。



お知らせ

- 用件再生中には、外線、内線の着信音や、一斉呼び出し、グループ呼び出しなどの着信音は鳴りません。
- ナンバー・ディスプレイで相手の方の電話番号が通知された場合は、用件再生中に相手の方の電話番号が表示されます。電話帳に登録した相手の場合は、電話番号のかわりに名前が表示されます。
- ネーム・ディスプレイにより発信者名が通知された場合は、用件再生中に相手の方の名前が表示されます。相手の方の電話番号が電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録された名前を表示します。



- ▶ 用件や応答メッセージの再生中に音量を調節するには? (●P66)
- ▶ 用件や応答メッセージの再生中にハンドセット受話音量をさらに上げるには? (●P66)
- ▶ 留守機能ロックが設定されているときは? (●P66)
- ▶ 用件再生中や応答メッセージ再生/録音中にかかってきた電話に出るには? (●P67)

用件を消去するには

留守番機能

用件再生中に、録音されている用件を1件ずつ消去することができます。また、保存されている用件をすべて消去することもできます。

1 件ずつ消去する

- 1** ハンドセットを置いたまま、再生ボタンを押す。
スピーカランプが点灯し、録音件数を知らせる音声が聞こえます。



3件 [用]
録音177 <<<<<<<<<
録音時間 1-35-45

- 2** 用件を聞く。

1/ 3件 再生 [用]
開発部
1: 戻し 8: 消去 3: 送り
7: 巻戻 0: 発信 9: 早送

お電話ください。
...×曜日、午後×時×分
です。



再生中の操作については「用件再生中にできる操作は」
(P20) を参照してください。

- 3** 用件の再生中に、**1*** (戻し) または **3**** (送り) を押して、消去する用件を再生する。

2/ 3件 再生 [用]
営業所
1: 戻し 8: 消去 3: 送り
7: 巻戻 0: 発信 9: 早送

- 4** **8*** (消去) を押す。
用件が消去されます。

2/ 2件 再生 [用]
事業部
1: 戻し 8: 消去 3: 送り
7: 巻戻 0: 発信 9: 早送

続けて消去する場合は、手順3～4を繰り返します。

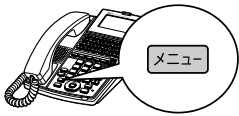
- 5** 停止ボタンを押す。



▶ 留守機能ロックが設定されているときは？
(P66)

すべての用件を消去する

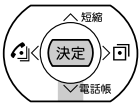
1 ハンドセットを置いたまま、**メニュー**を押す。



- 1: 電話機毎設定
- 2: システム一括設定
- 3: 録音電話機設定

2 下ボタンで「3: 録音電話機設定」を選択し、**決定**を押す。

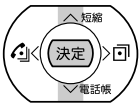
または**3**を押します。



- 1: 用件登録
- 2: ファイル管理
- 3: リモート機能
- 4: セキュリティ

3 上下ボタンで「2: ファイル管理」を選択し、**決定**を押す。

または**2**を押します。



- 1: 優先フォルダ設定
- 2: 録音先フォルダ消去
- 3: 用件ファイルバックアップ
- 4: 録音ファイルバックアップ

4 上下ボタンで「2: 録音先フォルダ消去」を選択し、**決定**を押す。

または**2**を押します。

- 録音先フォルダ消去
- 0: 全てのフォルダ
- 1: [用] (用件)フォルダ
- 2: [A]フォルダ

5 上下ボタンで「1: [用] (用件) フォルダ」を選択し、**決定**を押す。

または**1**を押します。

- 録音先消去[用]
- 0: 消去しない
- 1: 消去する

6 上下ボタンで「1: 消去する」を選択し、**決定**を押す。

または**1**を押します。

- 録音先消去[用]
- 決定ボタンで消去します

7 **決定**を押す。
すべての用件が消去されます。



「録音先消去 [用] 完了しました」と約2秒間表示されます。

クリアを長く押し待機画面に戻ります。

2 留守番機能を使う
トーカー機能を使う

用件を消去するには



ワンポイント

●用件、自作の応答メッセージ、通話中録音を一括で消去するには

フォーマットの機能で、用件、録音した応答メッセージ、通話中録音を一括消去することができます。(P59)



お知らせ


●留守セット中は、すべての用件を消去することはできません。留守を解除してから操作してください。




- ▶ 登録・設定中に電話がかかってきたときは？ (P66)
- ▶ 登録・設定を中止するには？ (P66)
- ▶ 操作中や設定中に何もボタンを押さなかった場合は？ (P66)

自分の声で応答メッセージを録音するには (応答メッセージ録音)

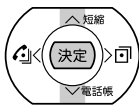
自分の声で録音した応答メッセージを利用することができます。録音時間は標準（約15秒）／長時間（最大約15分）を選択でき（☛P62）、2種類録音できます。
また、外出先などからもリモコン操作で応答メッセージを録音することができます。（☛P42）

- 1** ハンドセットを置いたまま、応答ボタンを押す。
すでに録音されているときは、右端に  が表示されます。
*表示は選択された応答メッセージを示します。
お買い求め時は応答メッセージ1が選択されています。



応答メッセージ 選択
0: 内蔵メッセージ
1: 応答メッセージ1* 
2: 応答メッセージ2

- 2** 上下ボタンで「1: 応答メッセージ1」または「2: 応答メッセージ2」を選択し、**決定**を押す。
または **1*** か **2** を押します。



応答メッセージ 1
1: 再生
2: 録音
3: 消去

- 3** 上下ボタンで「2: 録音」を選択し、**決定**を押す。
または **2** を押します。
「録音します。ハンドセットを取り、「ピーッ」という音のあとにお話してください。」という音声がかかります。

応答メッセージ 1 録音
停止: 録音中止

- 4** ハンドセットを取りあげる。
「ピーッ」という音が鳴って、録音が開始されます。

応答メッセージ 1 録音
停止: 録音終了

- 5** 応答メッセージを録音する。
<応答メッセージの例>
「はい、〇〇です。ただいま電話に出ることができません。ピーという音のあとに、お名前とご用件をお話してください。」

録音時間を超えると、「ピーッ」という音が鳴って自動的に録音が終了します。

- 6** 停止ボタンを押す。
「ピーッ」という音が鳴って、録音が終了します。



- 7** ハンドセットを置く。
クリア を長く押し待機画面に戻ります。



ワンポイント

- 応答メッセージを再生するには
 - ① 手順1～2と同様の操作で再生したい応答メッセージを選択する
 - ② 上下ボタンで「1: 再生」を選択し、**決定**を押す
または **1*** を押します。
 - ③ 再生が終了したら **決定** を押す
 - ④ **クリア** を押す
再生を途中で止めるときは、**決定** を押します。
- 応答メッセージを消去するには
 - ① 手順1～2と同様の操作で消去したい応答メッセージを選択する
 - ② 上下ボタンで「3: 消去」を選択し、**決定**を押す
または **3** を押します。
 - ③ 上下ボタンで「1: はい」を選択し、**決定**を押す
または **1*** を押します。
 - ④ **クリア** を押す
- 応答メッセージの録音時間を変えるには
応答メッセージ録音時間設定（☛P62）の機能で、長時間（最大約15分）にすることができます。
- ハンドセットで応答メッセージを聞くには
応答メッセージ再生中にハンドセットを取りあげます。スピーカからの再生に戻るときは、スピーカボタンを押してハンドセットを置きます。
ハンドセットからの再生中にハンドセットを置くと、再生は停止します。

 お知らせ

- 新たに応答メッセージを録音すると、前の応答メッセージが消去されます。
- 応答メッセージの録音が1秒以内の場合、録音は無効になります。
- 録音が満杯のときは、応答メッセージの録音はできません。不要な用件を消去してください。(☛P24)
- 録音しているときは、音量調節はできません。



- ▶ 用件や応答メッセージの再生中に音量を調節するには？ (☛P66)
- ▶ 用件や応答メッセージの再生中にハンドセット受話音量をさらに上げるには？ (☛P66)
- ▶ 留守機能ロックが設定されているときは？ (☛P66)
- ▶ 用件再生中や応答メッセージ再生／録音中にかかってきた電話に出るには？ (☛P67)

用件や応答メッセージを再生できないようにするには (留守機能ロック)

留守番機能

トーカー機能

再生ボタンや応答ボタン、留守ボタンを押したとき、暗証番号を入力しないと用件や応答メッセージが再生されないようにするには、留守機能ロック設定を「ロックする」にします。留守機能ロックを設定する場合は、あらかじめ暗証番号(3～6桁の数字)を登録しておいてください。(P41)

お買い求め時は、留守機能ロック設定は「ロックしない」に設定されています。留守機能ロックの設定は録音IP電話機からのみ行えます。

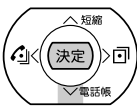
1 ハンドセットを置いたまま、**[メニュー]**を押す。



- 1: 電話機毎設定
- 2: システム一括設定
- 3: 録音電話機設定

2 下ボタンで「3: 録音電話機設定」を選択し、**[決定]**を押す。

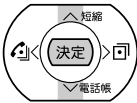
または**[3 DEF]**を押します。



- 1: 用件登録
- 2: ファイル管理
- 3: リモート機能
- 4: セキュリティ

3 上下ボタンで「4: セキュリティ」を選択し、**[決定]**を押す。

または**[4 GH]**を押します。



- 1: 留守暗証番号設定
- 2: 留守機能ロック設定
- 3: リモート操作ガード設定

4 上下ボタンで「2: 留守機能ロック設定」を選択し、**[決定]**を押す。

または**[2 ABC]**を押します。

暗証番号入力

5 現在の暗証番号(3～6桁の数字)をダイヤルボタンで入力する。

入力した暗証番号は「*」で表示されます。

1 あ	2 か	3 き
4 た	5 な	6 は
7 ま	8 や	9 ら
* *	0 りん	# 記号

暗証番号入力

間違えたときは、**[クリア]**を押して消去してから入力し直します。

6 **[決定]**を押す。



- 留守機能ロック設定
- 0: ロックしない
- 1: ロックする

7 上下ボタンで「1: ロックする」を選択し、**[決定]**を押します。

または**[1*]**を押します。

留守機能ロックが設定されます。

- 1: 留守暗証番号設定
- 2: 留守機能ロック設定
- 3: リモート操作ガード設定

[クリア]を長く押し待機画面に戻ります。



ワンポイント

●留守機能ロックを解除するには

手順7で「0: ロックしない」を選択して**[決定]**を押すか、**[0*9#]**を押します。



▶ 登録・設定中に電話がかかってきたときは? (P66)

▶ 登録・設定を中止するには? (P66)

▶ 操作中や設定中に何もボタンを押さなかった場合は? (P66)

▶ 入力した内容を一度に消去するには? (P66)

▶ 暗証番号を間違えたときは? (P66)

トーカー機能を利用するには

トーカー機能

留守をセットしたときに、用件を録音しないで応答メッセージだけを流すように設定することができます。お買い求め時は、「留守」（用件録音する）に設定されています。

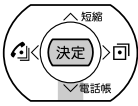
1 ハンドセットを置いたまま、**[メニュー]**を押す。



- 1: 電話機能設定
- 2: システム一括設定
- 3: 録音電話機設定

2 下ボタンで「3: 録音電話機設定」を選択し、**[決定]**を押す。

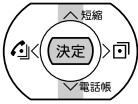
または**[3^{ABC}]**を押します。



- 1: 用件登録
- 2: ファイル管理
- 3: リモート機能
- 4: セキュリティ

3 上下ボタンで「1: 用件登録」を選択し、**[決定]**を押す。

または**[1^{*}]**を押します。



- 1: 用件録音時間設定
- 2: 用件録音/トーカー設定
- 3: 自動応答時間設定
- 4: 自動応答回線設定

4 上下ボタンで「2: 用件録音/トーカー設定」を選択し、**[決定]**を押す。

または**[2^{ABC}]**を押します。

- 0: 留守 ……用件を録音する
- 1: トーカー ……トーカー専用、用件を録音しない
- 2: 共用 ……応答メッセージ2を流すときはトーカー専用（用件を録音しない）

- 用件録音/トーカー設定
- 0: 留守
- 1: トーカー
- 2: 共用

5 上下ボタンで「1: トーカー」を選択し、**[決定]**を押す。

または**[1^{*}]**を押します。

- 0: ワンショット……応答メッセージを1回だけ流す
- 1: ループ ……応答メッセージを3回流す

- トーカー再生モード設定
- 0: ワンショット
- 1: ループ

6 上下ボタンで「0: ワンショット」または「1: ループ」を選択し、**[決定]**を押す。

または**[0^{ABC}]**か**[1^{*}]**を押します。

- 1: 用件録音時間設定
- 2: 用件録音/トーカー設定
- 3: 自動応答時間設定
- 4: 自動応答回線設定

[クリア]を長く押し待機画面に戻ります。

2 留守番機能を使う/
トーカー機能を使う

トーカー機能を利用するには
用件や応答メッセージを再生できないようにするには（留守機能ロック）



ワンポイント

- 留守とトーカーを両方セットするには
手順5で「2: 共用」を選択して**[決定]**を押すか、**[2^{ABC}]**を押します。
 - トーカーをセットすると
設定した応答メッセージに応じて、ディスプレイに \square^+ 、 \square^+ 、 \square^+ が表示されます。
 - 応答メッセージを選択するには（☛P18）
 - 応答メッセージを録音するには（☛P26）
 - 応答メッセージの種類（☛P17）
- Q&A**
- ▶ 登録・設定中に電話がかかってきたときは？（☛P66）
 - ▶ 登録・設定を中止するには？（☛P66）
 - ▶ 操作中や設定中に何もボタンを押さなかった場合は？（☛P66）

タイマで自動的に留守やトーカーを セットするには (タイマ留守設定)

留守機能

トーカー機能

タイマで自動的に留守やトーカーをセットすることができます。指定した曜日、時刻になると、用件録音／トーカー設定で設定されている留守かトーカーのどちらかが自動的にセットされます。お買い求め時は、タイマ留守設定「無し」に設定されています。

〈例〉 土、日の午前8時30分に応答メッセージ2でタイマ留守を設定するとき

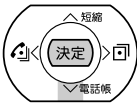
1 ハンドセットを置いたまま、**[メニュー]**を押す。



- 1: 電話機毎設定
- 2: システム一括設定
- 3: 録音電話機設定

2 下ボタンで「3: 録音電話機設定」を選択し、**[決定]**を押す。

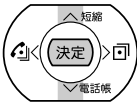
または **[3 DEF]**を押します。



- 1: 用件登録
- 2: ファイル管理
- 3: リモート機能
- 4: セキュリティ

3 上下ボタンで「5: その他」を選択し、**[決定]**を押す。

または **[5 DEL]**を押します。



- 1: タイマ留守設定
- 2: 留守録外線捕捉特番
- 3: 収容回線種別設定
- 4: 上位PBX外線捕捉

4 上下ボタンで「1: タイマ留守設定」を選択し、**[決定]**を押す。

または **[1 *]**を押します。

タイマ留守設定 (時刻)
00:00-23:59
:

5 設定する時刻をダイヤルボタンで入力する。

[0 000] **[8 8]**
↑
時 (00 ~ 23)
(24 時間制)

[3 30] **[0 0000]**
↑
分 (00 ~ 59)

タイマ留守設定 (時刻)
00:00-23:59
08:30

間違えたときは、**[クリア]**を押して消去してから入力し直します。

設定時刻を解除する場合は、**[クリア]**を長く押して、設定時刻を消去します。

6 **[決定]**を押す。

タイマ留守セット時刻が設定され、タイマ留守セット曜日の画面が表示されます。



タイマ留守設定 (曜日)
0: 無/1-2: 応1-2/3: 内
0000000 日月-土

7 曜日ごとの設定をダイヤルボタンで入力する。

日、月、火、水、木、金、土
↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑
2 0 0 0 0 0 2

[0 000]: 設定しない

[1 *]: 応答メッセージ1を設定する

[2 #]: 応答メッセージ2を設定する

[3 DEF]: 内蔵メッセージを設定する

間違えたときは、**[クリア]**を押して消去してから入力し直します。

タイマ留守設定 (曜日)
0: 無/1-2: 応1-2/3: 内
2000002 日月-土

8 **[決定]**を押す。

タイマ留守が設定されます。

1: タイマ留守設定
2: 留守録外線捕捉特番
3: 収容回線種別設定
4: 上位PBX外線捕捉

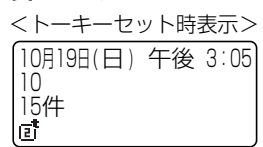
[クリア]を長く押して待機画面に戻ります。



ワンポイント

● **タイム留守設定されている場合、指定した曜日、時刻になると**

用件録音／トーカー設定 (P29) の設定により、留守またはトーカーのどちらかが自動的にセットされ、ディスプレイ表示が変わります。



通話中の場合は、通話終了後にディスプレイ表示が変わります。

アキュムレート録音 (P32, 62) が「無し」に設定されていると、留守セットと同時に録音されていた用件はすべて消去されます。

● **使われる応答メッセージは**

<留守がセットされるとき>

自作の応答メッセージが録音されていないときは、内蔵メッセージ (P17) の応答録音メッセージが使われます。録音が満杯のときは、応答専用メッセージが使われます。

<トーカーがセットされるとき>

自作の応答メッセージが録音されていないときは、内蔵メッセージ (P17) の応答専用メッセージが使われます。

● **タイム留守を解除するには**

手順5で **[クリア]** を長く押し、設定時刻を消去し、**[決定]** を押します。

● **タイムで自動的に留守とトーカーを両方セットするには**

①あらかじめ、用件録音／トーカー設定を「2：共用」に設定する (P29)

②手順7で、トーカーを流す曜日は **[2^{ABC}]** を、用件録音をする曜日は **[1^R]** または **[3^{DEF}]** を押す



お知らせ

- 停電中に指定した曜日、時刻になった場合、停電が復旧しても留守はセットされません。
- タイム留守設定での応答メッセージ選択は、応答メッセージ選択画面での設定を変更しません。
- タイム留守機能が動作したときは、タイム留守での応答メッセージ選択がわかるように応答メッセージ選択画面 (P26) に「#」を表示します。
- 自動応答回線設定 (P62) の回線をすべて「しない」に設定した場合は、タイム留守設定をしても電話がかかってきたときに留守応答しません。



- ▶ **登録・設定中に電話がかかってきたときは？ (P66)**
- ▶ **登録・設定を中止するには？ (P66)**
- ▶ **操作中や設定中に何もボタンを押さなかった場合は？ (P66)**
- ▶ **入力した内容を一度に消去するには？ (P66)**

留守番機能／トーカー機能を便利に 使うには

留守番機能／トーカー機能は、お買い求め時の設定を変えることで、さらに便利な使いかたができます。使いかたをよくご理解いただいてから、それぞれの機能を設定してください。

用件1件あたりの録音時間を変更する

■ 用件を録音するとき

電話がかかってくると、録音IP電話機が自動応答し、用件を録音します。(●P17)

用件1件あたりの録音時間を約1～5分の間で設定できます(お買い求め時は「約1分」に設定されています)。(●P62)

■ 用件を録音しないとき(トーカーモード)

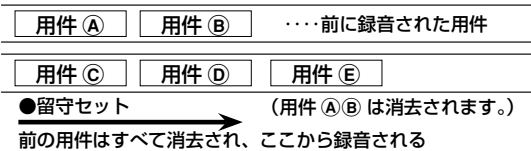
電話がかかってくる際、応答メッセージを流すだけで、用件を録音しないようにすることができます。(●P29、62)

自動応答時間を「トールセイバ」に設定している場合、トーカーが応答するまでの時間は約18秒になります。

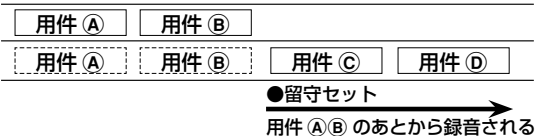
前の用件を消去しないで留守セットする (アキュムレート録音)

アキュムレート録音とは、一度留守を解除して聞いた用件を消さずに、留守セットができる機能です。

〈通常の留守セット〉



〈アキュムレート録音で留守セット〉



■ アキュムレート録音を設定する

アキュムレート録音を「有り」に設定します(お買い求め時は「無し」に設定されています)。(●P62)

応答メッセージの録音時間を変更する (応答メッセージ録音時間)

応答メッセージの録音時間を、長時間(最大約15分)にすることができます(お買い求め時は「標準(約15秒)」に設定されています)。(●P62)

録音IP電話機が応答するまでの時間を変更する

■ 自動応答時間を変更する

着信音が鳴ってから録音IP電話機が応答するまでの時間を変更できます。

自動応答時間を約3～27秒の間で設定できます(お買い求め時は「トールセイバ」に設定されています)。(●P62)

トールセイバとは、リモコン操作で用件を聞くと、約6秒を超えて応答しない場合は用件録音がないということがわかる機能です。録音があるときは約6秒、録音がないときは約18秒で留守番電話が応答します。

■ トールセイバを設定する

自動応答時間の設定でトールセイバを選びます。(●P62)

留守操作にガードをかける (暗証番号・留守機能ロック)

■ 暗証番号を登録する

暗証番号を登録することで、留守操作やリモコン操作を行える人を限定することができます。

■ 留守機能ロックを設定する

用件や応答メッセージの再生操作を制限するときは、留守機能ロックを「ロックする」に設定します。(●P28) 暗証番号を登録したあと留守機能ロックを設定すると、用件や応答メッセージの再生に暗証番号の入力が必要となります。

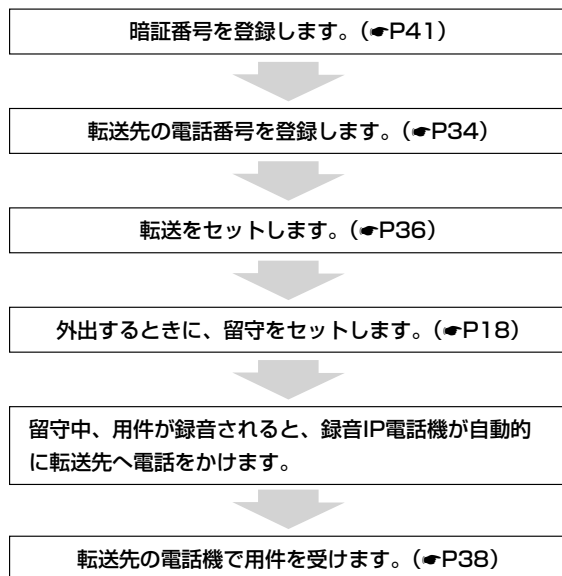
用件を録音する音量を変更する

用件再生音量が小さいときは、用件を録音する音量を5段階に大きくできます(お買い求め時は「レベル1(標準)」に設定されています)。(●P62)

用件を外出先へ転送するには

転送とは、録音IP電話機に用件が録音されたときに、録音IP電話機が自動的に外出先に電話をかけるなどして知らせる機能です。転送を利用するためには、あらかじめ暗証番号と転送先の電話番号を登録しておく必要があります。

転送の準備と流れ

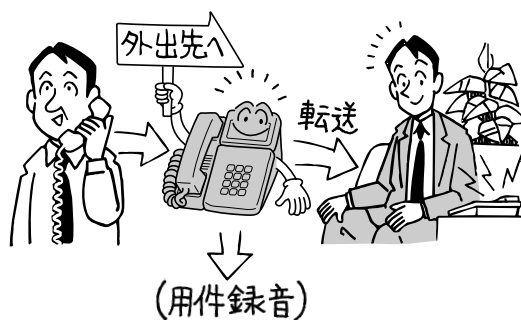


転送の利用例

●外出先の電話機に転送

留守中に録音IP電話機で受けた用件が、外出先の電話機やPHS対応電話機、携帯電話などに転送されます。

(☛P38)



ワンポイント

●転送や留守をセットし忘れたいときは

外出先からリモコン操作で転送や留守をセットしたり、転送先の電話番号を登録することができます。(☛P42、43、44、45)

2 留守番機能を使う／
トーカー機能を使う

3 用件を転送する

用件を外出先へ転送するには
留守番機能／トーカー機能を利用するには

転送先の電話番号を登録するには

転送先の電話番号を録音IP電話機で登録します。外出先などからもリモコン操作することで登録することができます。(P42)

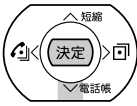
1 ハンドセットを置いたまま、**[メニュー]**を押す。



- 1: 電話機毎設定
- 2: システム一括設定
- 3: 録音電話機設定

2 下ボタンで「3: 録音電話機設定」を選択し、**[決定]**を押す。

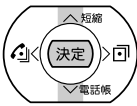
または**[3 DEF]**を押します。



- 1: 用件登録
- 2: ファイル管理
- 3: リモート機能
- 4: セキュリティ

3 上下ボタンで「3: リモート機能」を選択し、**[決定]**を押す。

または**[3 DEF]**を押します。



- 1: 転送機能
- 2: 遅延着信応答設定
- 3: 留守エコー設定
- 4: 暗証スキップ 番号登録

4 上下ボタンで「1: 転送機能」を選択し、**[決定]**を押す。
または**[1 *]**を押します。

- 1: 転送設定
- 2: 転送先電話番号登録
- 3: 転送有効条件設定
- 4: 転送外線捕捉特番

5 上下ボタンで「2: 転送先電話番号登録」を選択し、**[決定]**を押す。

または**[2 ABC]**を押します。

転送先電話番号登録

6 転送先の電話番号（最大32桁）をダイヤルボタンで入力する。



転送先電話番号登録

0312341111

間違えたときは、**[クリア]**を押して消去してから入力し直します。

7 **[決定]**を押す。

転送先の電話番号が登録されます。



- 1: 転送設定
- 2: 転送先電話番号登録
- 3: 転送有効条件設定
- 4: 転送外線捕捉特番

[クリア]を長く押し待機画面に戻ります。



ワンポイント

● 転送先を変更するには

新たに登録を行います。もとの転送先電話番号は消去され、新しい番号に変更されます。

● 転送先の登録を消去するには

①手順1～5の操作をする

② **クリア** を長く押し、電話番号を消す

③ **決定** を押す

クリア を長く押し待機画面に戻ります。

転送がセットされている場合は、自動的に転送が解除されます。(☛P36)

● ポーズを入れて登録するには

フックボタンを押します。ディスプレイには「P」が表示され、フックボタン1回あたり約3秒間のポーズが登録されます。



お知らせ

● 転送先の電話番号を誤って登録すると、用件が録音されるたび、誤った相手先に繰り返し電話がかかりますのでご注意ください。



▶ 登録・設定中に電話がかかってきたときは？
(☛P66)

▶ 登録・設定を中止するには？ (☛P66)

▶ 操作中や設定中に何もボタンを押さなかった場合は？ (☛P66)

▶ 入力した内容を一度に消去するには？
(☛P66)

転送をセットするには

あらかじめ転送先の電話番号を登録してから転送をセットします。外出するときに留守をセット(☛P18)すると、用件が録音されたときに転送が行われます。

1 ハンドセットを置いたまま、**[メニュー]**を押す。



- 1: 電話機毎設定
- 2: システム一括設定
- 3: 録音電話機設定

2 下ボタンで「3: 録音電話機設定」を選択し、**[決定]**を押す。

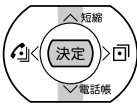
または**[3.0]**を押します。



- 1: 用件登録
- 2: ファイル管理
- 3: リモート機能
- 4: セキュリティ

3 上下ボタンで「3: リモート機能」を選択し、**[決定]**を押す。

または**[3.0]**を押します。



- 1: 転送機能
- 2: 遅延着信応答設定
- 3: 留守メモ設定
- 4: 暗証スキップ番号登録

4 上下ボタンで「1: 転送機能」を選択し、**[決定]**を押す。
または**[1.0]**を押します。

- 1: 転送設定
- 2: 転送先電話番号登録
- 3: 転送有効条件設定
- 4: 転送外線捕捉特番

5 上下ボタンで「1: 転送設定」を選択し、**[決定]**を押す。
または**[1.0]**を押します。

- 転送設定
- 0: 無し
- 1: 有り

6 上下ボタンで「1: 有り」を選択し、**[決定]**を押す。
または**[1.0]**を押します。

転送がセットされます。

- 1: 転送設定
- 2: 転送先電話番号登録
- 3: 転送有効条件設定
- 4: 転送外線捕捉特番

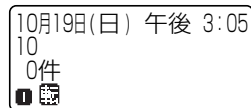
転送先が登録されていないと、「ブブブブブ」という音が鳴ります。転送先の電話番号を登録してください。(☛P34)

[クリア]を長く押し待機画面に戻ります。



ワンポイント

●転送をセットし、留守をセットするとディスプレイに「☎」が表示されます。



●転送を解除するには

手順6で、上下ボタンで「0: 無し」を選択して**[決定]**を押すか、**[0.0]**を押します。

●外出先からのリモコン操作で転送をセット/解除するには(☛P42、43、44)

**お知らせ** |||

- あらかじめ転送先の電話番号を登録（☛P34）していないと、転送がセットできません。
- 転送をセットしていても、留守をセット（☛P18）していないと転送されません。
- 用件を録音しないで応答メッセージだけを流すように設定されているときは（トーカーモード）、転送されません。（☛P29、32、62）
- 用件が満杯になって録音できなかったときは、転送されません。
- 相手の方が用件を録音しないで電話を切ったときや、用件が極端に短い（3秒以内：お買い求め時）ときは、転送されません。転送有効条件を変えることもできます。（☛P64）
- 転送先へのダイヤル開始は、用件録音の約30秒後です。
 - ・ この約30秒の間は、録音IP電話機のボタンを押す操作は無効です。
 - ・ この約30秒の間にハンドセットをいったん取りあげてから置くと、転送が中止されます。
- 転送先が応答しないときや通話中の場合は、約3分後に2回かけ直します。
 - ・ この約3分の間は、録音IP電話機のボタンを押す操作は無効です。
 - ・ この約3分の間にハンドセットをいったん取りあげてから置くと、転送が中止されます。
- 転送動作中は、録音IP電話機のボタンを押す操作は無効です。
- 転送動作中にハンドセットをいったん取りあげてから置くと、転送が中止されます。
- 転送先の電話番号を消去（☛P35）すると、自動的に転送が解除されます。



- ▶ 登録・設定中に電話がかかってきたときは？（☛P66）
- ▶ 登録・設定を中止するには？（☛P66）
- ▶ 操作中や設定中に何もボタンを押さなかった場合は？（☛P66）

転送先で用件を受けるには

転送により転送先に電話がかかってきたら、暗証番号（●P41）を使って、転送先で録音されている用件を聞くことができます。

- 1 転送先で電話を受けたときに「ピッピッ、転送します。」という音声聞こえる。



- 2 **Ⓜ**を長めに押す。

- 3 暗証番号（3～6桁の数字）をダイヤルボタンで入力し、続けて**Ⓜ**を押す。

用件の再生が始まります。

再生中の操作については、「用件再生中にできる操作は」（●P43）を参照してください。

再生終了後の操作については、「番号でできるリモコン操作（ダイレクトリモコン操作番号）」（●P44）を参照してください。

- 4 終了するときは、**Ⓜ** **0** **Ⓜ**を押す。

- 5 ハンドセットを置く。



ワンポイント

●暗証番号を間違えたときは

「もう一度入力してください。番号をどうぞ。」という音声聞こえます。もう一度**Ⓜ**暗証番号**Ⓜ**を押してください。3回間違えると、自動的に電話が切れます。

●用件を受けることができる電話機は

必ずプッシュ信号を送ることができる電話機またはプッシュホンをご利用ください。ダイヤル回線に接続されている電話機でも、プッシュ信号を送る機能があれば、用件を聞くことができます。

●操作を中止するには

Ⓜ **0** **Ⓜ**の順に押してから電話を切ります。



お知らせ

●「ピッピッ、転送します。」という音声のあと**Ⓜ**を押さなかったり、暗証番号を押さなかったときは、約30秒後に自動的に電話が切れます。

●下記の場合は、約3分ごとに2回までかけ直します。

- ・転送先がお話中などで応答しなかったとき
- ・約50秒間呼び出しても出なかったとき
- ・回線が使用中のとき

●転送できなかったときは、次の用件が録音されるまで転送されません。

●暗証番号を3回間違えて自動的に電話が切れたあとには、暗証番号を1回間違えただけで自動的に電話が切れるようになります（暗証破りガード）。留守を再セットすると暗証破りガードは解除され、暗証番号を3回まで入力できるようになります。

リモコン操作でできること

リモコン操作とは、外出先の電話機から録音IP電話機に電話をかけて、ダイヤルボタンで用件を聞くなどの操作をすることです。リモコン操作するためには、あらかじめ暗証番号の登録が必要です。(☛P41)

リモコン操作を使えるようにする

リモート操作ガードを解除し、録音IP電話機に暗証番号を登録します。

リモート操作ガードを解除するには (☛P40)

暗証番号を登録するには (☛P41)

留守をセットする

外出するときは、留守をセットします。

留守をセットするには (☛P18)

外出先などから留守をセットするには (☛P45)

外出先から電話をかける

ブッシュ信号を送ることができる電話機から録音IP電話機に電話をかけます。

応答メッセージが聞こえたら(☎)暗証番号(☎)の順にダイヤルボタンを押します。

ダイヤル回線に接続されている電話機でもブッシュ信号を送る機能があればリモコン操作ができます。

録音された用件を聞く

録音された用件の件数を示すメッセージに続いて、用件が聞こえます。続いて、リモコン操作の形式選択を案内する音声聞こえます。

対話形式またはダイレクトリモコンでリモコン操作を行います。

対話形式でリモコン操作するには (☛P42)

番号でリモコン操作するには (☛P43)

お願い

- リモコン操作におけるダイヤルボタンはゆっくりと確実に押してください。
- 音声が聞こえている間に(☎)を押す場合は、音声が確実に止まるように、少し長めに(目安として約2~3秒間)押してください(電話機によってはできない場合があります)。
- 携帯電話などで音声が聞こえている間にリモコン操作した場合は正常に動作しないことがありますので、音声終了してから操作してください。



お知らせ

- 「番号をどうぞ。」の音声案内が終了して約8秒間何も操作しないと、再度「番号をどうぞ。」の音声案内があります。4回目の音声案内が終了しても操作がない場合は自動的に電話が切れます。
- 応答メッセージが終了してから操作した場合、用件録音の1件として数えられます。
- 録音が満杯になるとリモコン操作では応答メッセージの録音はできません。録音されている用件を確認し、消去してください。
- (☎)(0)(☎)を押さずに電話を切った場合でも、録音IP電話機は自動的に電話を切ります。

リモコン操作するには

お買い求め時はリモコン操作が行えないようにリモート操作ガードが設定されています。リモコン操作をするときは、まずリモート操作ガードを解除し、リモコン操作で使用する暗証番号(3～6桁の数字)を登録する必要があります。

暗証番号はリモコン操作のほかに、留守機能ロックの設定／解除にも使用します。

お買い求め時、暗証番号は「0000」に設定されています。

リモート操作ガードを解除する

- 1** ハンドセットを置いたまま、**[メニュー]**を押す。



1: 電話機毎設定
2: システム一括設定
3: 録音電話機設定

- 2** 下ボタンで「3: 録音電話機設定」を選択し、**[決定]**を押す。

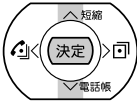
または**[3 DEF]**を押します。



1: 用件登録
2: ファイル管理
3: リモート機能
4: セキュリティ

- 3** 上下ボタンで「4: セキュリティ」を選択し、**[決定]**を押す。

または**[4 SH]**を押します。



1: 留守暗証番号設定
2: 留守機能ロック設定
3: リモート操作ガード設定

- 4** 上下ボタンで「3: リモート操作ガード設定」を選択し、**[決定]**を押す。

または**[3 DEF]**を押します。

リモート操作ガード設定
0: ガード無し
1: ガード有り

- 5** 上下ボタンで「0: ガード無し」を選択し、**[決定]**を押す。

または**[0 DEF]**を押します。

リモート操作ガード設定が解除されます。

1: 留守暗証番号設定
2: 留守機能ロック設定
3: リモート操作ガード設定

[クリア]を長く押し待機画面に戻ります。



ワンポイント

- リモート操作ガードを設定するには
手順5で、上下ボタンで「1: ガード有り」を選択して**[決定]**を押すか、**[1*]**を押します。



- ▶ 登録・設定中に電話がかかってきたときは? (P66)
- ▶ 登録・設定を中止するには? (P66)
- ▶ 操作中や設定中に何もボタンを押さなかった場合は? (P66)

暗証番号を登録する

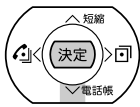
1 ハンドセットを置いたまま、**[メニュー]**を押す。



- 1: 電話機毎設定
- 2: システム一括設定
- 3: 録音電話機設定

2 下ボタンで「3: 録音電話機設定」を選択し、**[決定]**を押す。

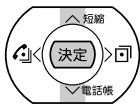
または**[3 DEF]**を押します。



- 1: 用件登録
- 2: ファイル管理
- 3: リモート機能
- 4: セキュリティ

3 上下ボタンで「4: セキュリティ」を選択し、**[決定]**を押す。

または**[4 GH]**を押します。



- 1: 留守暗証番号設定
- 2: 留守機能ON/OFF設定
- 3: リモート操作ガード設定

4 上下ボタンで「1: 留守暗証番号設定」を選択し、**[決定]**を押す。

または**[1*]**を押します。

留守暗証番号設定
旧暗証番号? ****

5 現在の暗証番号 (3～6桁の数字) をダイヤルボタンで入力する。

お買い求め後、はじめて暗証番号を登録するときは「0000」を入力します。

入力した暗証番号は「*」で表示されます。



留守暗証番号設定
旧暗証番号? ****

間違えたときは、**[クリア]**を押して消去してから入力し直します。

6 **[決定]**を押す。



留守暗証番号設定
新暗証番号?

7 新しい暗証番号 (3～6桁の数字) をダイヤルボタンで入力する。

留守暗証番号設定
新暗証番号? ****

間違えたときは、**[クリア]**を押して消去してから入力し直します。

8 **[決定]**を押す。

留守暗証番号設定
もう一度新暗証番号?

9 もう一度新しい暗証番号をダイヤルボタンで入力する。

留守暗証番号設定
もう一度新暗証番号? ****

間違えたときは、**[クリア]**を押して消去してから入力し直します。

10 **[決定]**を押す。

留守暗証番号設定
2: 留守機能ON/OFF設定
3: リモート操作ガード設定

[クリア]を長く押し待機画面に戻ります。



ワンポイント

- 暗証番号を間違えたときは
「暗証番号が違います」と表示されます。**[クリア]**を押して、もう一度操作をやり直してください。



お知らせ

- 暗証番号には、*、井は登録できません。
- 暗証番号は、メモをとるなどして忘れないようにしてください。



- ▶ 登録・設定中に電話がかかってきたときは? (P66)
- ▶ 登録・設定を中止するには? (P66)
- ▶ 操作中や設定中に何もボタンを押さなかった場合は? (P66)
- ▶ 入力した内容を一度に消去するには? (P66)

外出先などから用件を聞くには

外出先の電話機や内線電話機からのリモコン操作で、留守中に録音された用件を聞くことができます。続けて、用件を消去したり、応答メッセージを録音するなどの操作もできます。

対話形式でリモコン操作する

- 1** 録音IP電話機に電話をかける。
電話がつながると、録音IP電話機の応答メッセージが聞こえます。



- 2** 応答メッセージが聞こえている間に **Ⓜ** 暗証番号 **Ⓜ** を押す。

用件の再生が始まります。

用件の再生が終了すると、メニューガイダンス「対話形式でリモコンを行う場合は **Ⓜ** **①** **Ⓜ** を、直接リモコンを行う場合は **Ⓜ** **④** **Ⓜ** を、リモコンを終了する場合は **Ⓜ** **①** **Ⓜ** をどうぞ。」が聞こえます。

- 3** **Ⓜ** **①** **Ⓜ** を押す。
対話形式でのリモコン操作になります。

- 4** 聞こえてくる音声に対して、実行またはスキップを選択し、ダイヤルボタンを押す。

実行するとき : **Ⓜ** **①** **Ⓜ** を押す

スキップするとき : **Ⓜ** **③** **Ⓜ** を押す

- 5** 終了するとき、**Ⓜ** **①** **Ⓜ** を押す。

- 6** 電話を切る。



ワンポイント

- 留守暗証番号を間違えたときは
「もう一度入力してください。番号をどうぞ。」という音声が入ります。もう一度 **Ⓜ** 暗証番号 **Ⓜ** を押してください。3回間違えると、自動的に電話が切れます。
- 対話形式で行えるリモコン操作は
手順4で次の順序で音声が入ります。
 - ①「実行なら **Ⓜ** **①** **Ⓜ** を、スキップなら **Ⓜ** **③** **Ⓜ** をどうぞ。」
 - ②「用件メッセージを消去しますか。」
 - ③「用件メッセージを再生しますか。」
 - ④「留守設定を解除しますか。」
 - ⑤「留守設定にしますか。」
 - ⑥「転送を解除しますか。」
 - ⑦「転送にしますか。」
 - ⑧「転送先電話番号を設定しますか。」
 - ⑨「リモコンを終了しますか。」
 ⑨で **Ⓜ** **③** **Ⓜ** を押すと、②に戻ります。④⑤⑥⑦は留守や転送の設定状態により聞こえます。
- メニューガイダンスに戻るには
手順4で **Ⓜ** **⑨** **Ⓜ** を押します。
- ダイレクトリモコン操作に変更するには
手順4で **Ⓜ** **⑨** **Ⓜ** を押してメニューガイダンスに戻り、**Ⓜ** **④** **Ⓜ** を押します。
- 操作を中止するには
Ⓜ **①** **Ⓜ** を押してから電話を切ります。



お知らせ

- 対話形式の音声案内が終了して約6秒間何も操作しないと、再度同じ音声案内があります。さらに約6秒間何も操作しないと次の操作の音声案内になります。
- アキュムレート録音を「有り」に設定していても、手順2では留守セット後に録音された用件のみが再生されます。
- 外出先から転送先電話番号を登録する場合は、#は登録できません。



▶ リモコン操作で暗証番号を3回間違えたときは？ (P66)

番号でリモコン操作する (ダイレクトリモコン)

- 1** 録音IP電話機に電話をかける。
電話がつながると、録音IP電話機の応答メッセージが聞こえます。



- 2** 応答メッセージが聞こえている間に **Ⓜ** 暗証番号 **Ⓜ** を押す。

用件の再生が始まります。

再生中の操作については、「用件再生中にできる操作は」(●右記)を参照してください。

用件の再生が終了すると、メニューガイダンス「対話形式でリモコンを行う場合は **Ⓜ** **①** **Ⓜ** を、直接リモコンを行う場合は **Ⓜ** **④** **Ⓜ** を、リモコンを終了する場合は **Ⓜ** **①** **Ⓜ** をどうぞ。」が聞こえます。

- 3** **Ⓜ** **④** **Ⓜ** を押す。
「番号をどうぞ。」という音声聞こえます。

- 4** **ダイレクトリモコン操作番号をダイヤルボタンで押す。**
ダイレクトリモコン操作番号については、「番号でできるリモコン操作(ダイレクトリモコン操作番号)」(●P44)を参照してください。

- 5** 終了するときは、**Ⓜ** **①** **Ⓜ** を押す。

- 6** 電話を切る。



ワンポイント

- 留守暗証番号を間違えたときは
「もう一度入力してください。番号をどうぞ。」という音声聞こえます。もう一度 **Ⓜ** 暗証番号 **Ⓜ** を押しください。3回間違えると、自動的に電話が切れます。
- 用件再生中にできる操作は

操作内容	押すボタン
再生中の用件を聞き直す	① Ⓜ (再生開始3秒以降に押す)
再生中の用件の1つ前の用件をもう一度聞く	① Ⓜ (再生開始3秒以内に押す)
用件を先頭から聞き直す	② Ⓜ
再生中の用件をとばして次の用件を聞く(最後の用件のときは、再生を終了する)	③ Ⓜ
再生中の用件を消去する	⑧ Ⓜ
再生を途中で止める	Ⓜ

- メニューガイダンスに戻るには
手順4で **Ⓜ** **⑨** **Ⓜ** を押します。
- 対話形式のリモコン操作に変更するには
手順4で **Ⓜ** **⑨** **Ⓜ** を押してメニューガイダンスに戻り、**Ⓜ** **①** **Ⓜ** を押します。
- 操作を中止するには
Ⓜ **①** **Ⓜ** を押してから電話を切ります。



お知らせ

- 「番号をどうぞ。」の音声案内が終了して約8秒間何も操作しないと、再度「番号をどうぞ。」の音声案内があります。4回目の音声案内が終了しても操作がない場合は、自動的に電話が切れます。
- アキュムレート録音を「有り」に設定していても、手順2では留守セット後に録音された用件のみが再生されます。
- 留守セット以前に録音されていた用件を聞くには、手順4で **②** **Ⓜ** と押すと、録音されているすべての用件が先頭から再生されます。
- 外出先から転送先電話番号を登録する場合は、#は登録できません。



- ▶ リモコン操作で暗証番号を3回間違えたときは? (●P66)

番号でできるリモコン操作 (ダイレクトリモコン操作番号)

① ㊦

〈用件再生中に押す〉

用件戻し

再生中の用件のはじめから、または1件前の用件を再生します。

② ㊦

用件再生

先頭の用件から再生します。

③ ㊦

〈用件再生中に押す〉

用件送り

次の用件を再生します。最後の用件再生中に押したときは、再生を終了します。

④ ① ㊦

応答メッセージ1再生/選択

④ ② ㊦

応答メッセージ2再生/選択

④ ③ ㊦

内蔵メッセージ再生/選択

応答メッセージを再生し、選択します。

⑤ ㊦

応答メッセージ録音

再生/選択中の応答メッセージを録音します。

⑥ ① ㊦

転送セット

⑥ ② ㊦

転送解除

転送をセットまたは解除します。

⑥ * ㊦

転送先電話番号登録

転送先の電話番号を登録します。

⑧ ㊦

〈用件/応答メッセージ再生中に押す〉

用件/応答メッセージ消去

再生中の用件または応答メッセージを消去します。

㊦ ⑨ ㊦

メニューガイダンス

メニューガイダンスに戻ります。

* ㊦

留守解除

留守を解除します。

㊦ ① ㊦

リモコン操作終了

リモコン操作を終了します。

㊦

動作停止

再生または録音を停止します。続けて他のダイレクトリモコン操作番号を押してください。

外出先などから留守をセットするには

外出先の電話機から、暗証番号を使ってリモコン操作で留守をセットすることができます。

- 1 録音IP電話機に電話をかける。
相手呼び出し音が聞こえてから約50秒後に電話がつながり、録音IP電話機の応答メッセージが聞こえます。



- 2 応答メッセージが聞こえている間に **(#) 暗証番号 (#)** を押す。

現在の曜日と時刻の音声聞こえます。

- 3 現在設定されている応答メッセージを聞く。
応答メッセージの再生が終了すると、「留守設定にしました。」という音声聞こえます。
続けて、対話形式またはダイレクトリモコンでリモコン操作が行えます。

- 4 終了するときは、**(#) 0 (#)** を押す。

- 5 電話を切る。



ワンポイント

- 留守暗証番号を間違えたときは
「もう一度入力してください。番号をどうぞ。」という音声聞こえます。もう一度 **(#) 暗証番号 (#)** を押してください。3回間違えると、自動的に電話が切れます。
- 留守を解除するときには
手順3で、対話形式またはダイレクトリモコンの留守解除の操作を行います。



お知らせ

- 録音IP電話機を複数接続してご使用になるときは、あらかじめ自動応答回線設定 (●P62) で応答する録音IP電話機を設定しておいてください。
- 遅延着信応答設定 (●P64) が「無し」に設定されていると、外出先や他の内線電話機から留守をセットすることができません。お買い求め時には「有り」に設定されています。



- ▶ リモコン操作で暗証番号を3回間違えたときは？ (●P66)

暗証番号を入力しないで用件を聞ける ようにするには

暗証スキップ電話番号を登録すると、その番号の電話機から録音IP電話機に電話をかけたときは暗証番号を入力しないでリモコン操作ができます。
お買い求め時は、暗証スキップ電話番号は登録されていません。

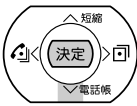
1 ハンドセットを置いたまま、**メニュー**を押す。



- 1: 電話機毎設定
- 2: システム一括設定
- 3: 録音電話機設定

2 下ボタンで「3: 録音電話機設定」を選択し、**決定**を押す。

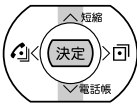
または **3 DEF** を押します。



- 1: 用件登録
- 2: ファイル管理
- 3: リモート機能
- 4: セキュリティ

3 上下ボタンで「3: リモート機能」を選択し、**決定**を押す。

または **3 DEF** を押します。



- 1: 転送機能
- 2: 遅延着信応答設定
- 3: 留守メモ設定
- 4: 暗証スキップ番号登録

4 上下ボタンで「4: 暗証スキップ番号登録」を選択し、**決定**を押す。

または **4 GH** を押します。

暗証スキップ番号登録

5 電話番号(最大32桁)をダイヤルボタンで入力する。

1 あ	2 か ABC	3 き DEF
4 た GHI	5 な JKL	6 は MNO
7 ま PQRS	8 や TUV	9 ら WXYZ
* *	0 わかん	# 記号

暗証スキップ番号登録

0312341111

間違えたときは、**クリア**を押して消去してから入力し直します。

6 **決定**を押す。
暗証スキップ電話番号が登録されます。



- 1: 転送機能
- 2: 遅延着信応答設定
- 3: 留守メモ設定
- 4: 暗証スキップ番号登録

クリアを長く押し待機画面に戻ります。



ワンポイント

- 暗証スキップ電話番号を消去するには
 - ① 手順1～4と同様の操作で登録されている暗証スキップ電話番号を表示させる
 - ② **クリア**を長く押し待機画面に戻ります。
 - ③ **決定**を押す
 - ④ **クリア**を長く押し待機画面に戻ります。



お知らせ

- 暗証スキップ電話番号の電話機から録音IP電話機に電話をかけるときは、必ず発信者番号を通知してかけてください。
- 本機能をご利用になるには、ナンバー・ディスプレイ(有料)のご契約と、本商品を接続する主装置のナンバー・ディスプレイの設定が必要です。



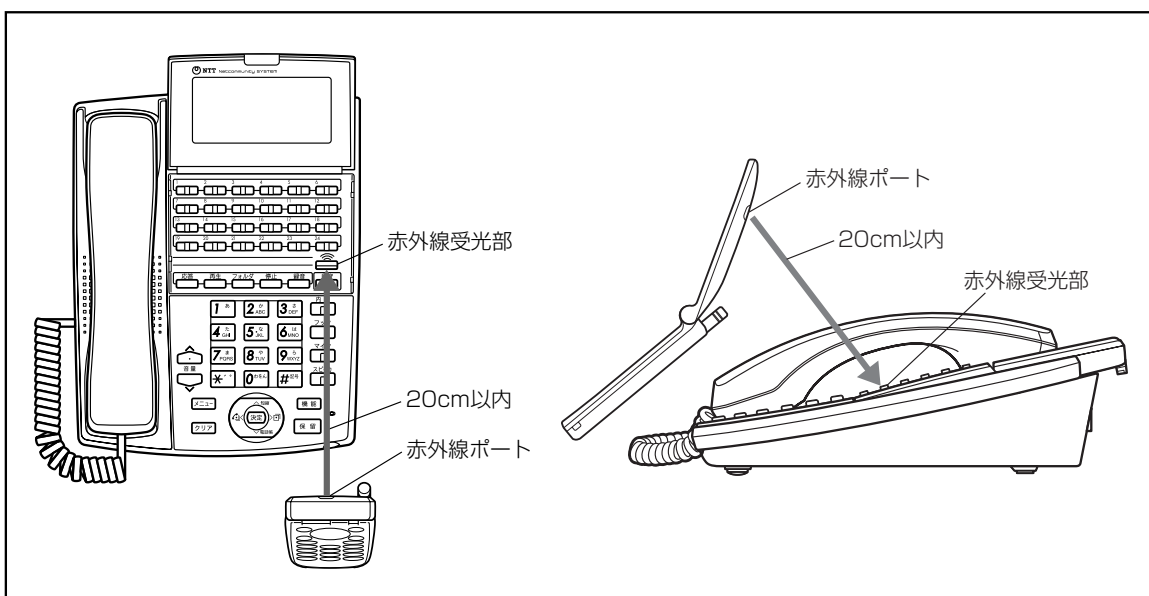
- ▶ 登録・設定中に電話がかかってきたときは? (P66)
- ▶ 登録・設定を中止するには? (P66)
- ▶ 操作中や設定中に何もボタンを押さなかった場合は? (P66)
- ▶ 入力した内容を一度に消去するには? (P66)

赤外線通信を使うには

赤外線通信を利用して携帯電話の電話帳を録音IP電話機に送信し、電話をかけたり、主装置の電話帳に登録したりすることができます。

■ 赤外線通信を使うときは

録音IP電話機の赤外線受光部と携帯電話の赤外線ポートは、下図のように20cm以内に近づけてください。使用する携帯電話や角度によっては、通信できる距離がさらに短くなる場合もありますので、できるだけ携帯電話の赤外線ポートを赤外線受光部に近づけて操作してください。



■ ご利用になれる携帯電話

ご利用になれる携帯電話は「IrMC Ver1.1」対応の携帯電話です。
ご利用になれる携帯電話の機種については、当社のサービス取扱所にご確認ください。

● STOP お願い

- 直射日光が当たる場所や蛍光灯の真下など、極端に明るい場所では、赤外線通信が正常に行われない場合があります。
- 赤外線通信が終わるまで、携帯電話の赤外線ポートを録音IP電話機の赤外線受光部に向けたまま動かさないようにしてください。
- 録音IP電話機の赤外線受光部と携帯電話の赤外線ポートの間には、なにも置かないでください。

暗証番号を入力しないで用件を聞けるようにするには

4 リモコン操作する

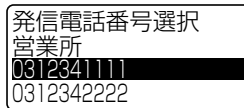
5 赤外線通信を使う

携帯電話の電話帳で電話をかけるには

携帯電話の電話帳に登録されている電話番号を赤外線通信で録音IP電話機に送信し、電話をかけます。

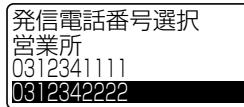
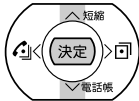
1 ハンドセットを置いたまま、携帯電話で電話帳を検索し、電話をかけたい相手の方を表示させ、赤外線送信操作をする。

送信が完了すると、携帯電話の電話帳に登録されている名前と電話番号が、録音IP電話機のディスプレイに表示されます。



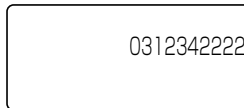
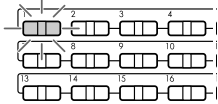
携帯電話での電話帳検索、赤外線送信操作については、携帯電話の取扱説明書を参照してください。

2 上下ボタンで電話番号を選択し、**決定**を押す。



3 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。

緑・2回消える



4 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しする。



ワンポイント

- 電話をかけるのを途中でやめるには
いったんハンドセットを取りあげ、そのまま置いてください。



お知らせ

- 携帯電話の1つの電話帳に複数の電話番号が登録されている場合は、最大4件の電話番号を受信できます。同時に表示できるのは2件の電話番号までですが、上下ボタンを押すと3件目、4件目の電話番号を表示できます。
- 手順2で電話番号を選択し、**決定**を押すまでは外線ボタンを押さないでください。
- 電話がかかってきているときも電話番号を受信できますが、留守セット中に電話がかかってきた場合は電話番号を受信できません。

携帯電話の電話帳を主装置の電話帳に登録するには

録音IP電話機で携帯電話から電話帳データを1件ずつ受信し、主装置の電話帳に登録します。

1 ハンドセットを置いたまま、**[メニュー]**を押す。



- 1: 電話機毎設定
- 2: システム一括設定
- 3: 録音電話機設定

2 下ボタンで「3: 録音電話機設定」を選択し、**[決定]**を押す。

または**[3.FW]**を押します。



- 1: 用件登録
- 2: ファイル管理
- 3: リモート機能
- 4: セキュリティ

3 上下ボタンで「6: 赤外線電話帳登録」を選択し、**[決定]**を押す。

または**[6.MO]**を押します。



- 電話帳登録
- 電話番号受信中

受信を中止するときは、**[クリア]**を押してください。

[クリア]を長く押しして登録を中止することはできません。

4 携帯電話で電話帳を検索し、登録したい相手の方を表示させ、赤外線送信操作をする。

送信が完了すると、電話帳登録画面が表示されます。

携帯電話での電話帳検索、赤外線送信操作については、携帯電話の取扱説明書を参照してください。

お知らせ

- 1回に受信、登録できる電話帳データは1件のみです。
- 携帯電話の電話帳データに電話番号が登録されていない場合は登録できません。
- 手順4で、約30秒の間に送信が開始されないと、自動的に受信は中止されます。
- 携帯電話の電話帳データと主装置の電話帳に登録したデータは、同じにならないことがあります。
- 本商品を接続する主装置によっては手順4のあとに操作が必要になる場合があります。詳しくは接続する主装置の取扱説明書を参照してください。
- 電話帳の登録件数が満杯などの理由で電話帳の登録に失敗したときは、エラー画面が表示されます。
[クリア]を押すと「6: 赤外線電話帳登録」選択画面が表示されます。

- 5: その他
- 6: 赤外線電話帳登録

● 携帯電話の電話帳データ以外のデータ送信は行わないでください。



- ▶ 登録・設定中に電話がかかってきたときは? (P66)
- ▶ 登録・設定を中止するには? (P66)
- ▶ 操作中や設定中に何もボタンを押さなかった場合は? (P66)
- ▶ 一つ前のメニューに戻るには? (P66)

携帯電話の電話帳を主装置の電話帳に登録するには
携帯電話の電話帳で電話をかけるには

通話中録音を再生する

- 1** ハンドセットを置いたまま、再生ボタンを押す。
用件の再生が始まります。



1/ 3件 再生 [用]
開発部
1: 戻し 8: 消去 3: 送り
7: 巻戻 0: 発信 9: 早送

- 2** フォルダボタンを押す。
用件の再生が停止し、フォルダ選択画面が表示されます。



フォルダ 選択
0: [用] (用件)フォルダ
1: [A] フォルダ
2: [B] フォルダ

- 3** 上下ボタンで通話中録音のフォルダを選択し、**[決定]**を押す。

または**[1]**～**[4]**を押します。



通話中録音が再生されます。通話中録音の再生が終了すると待機画面に戻ります。

再生中の操作は用件再生中と同じです。「用件再生中にできる操作は」(P20)を参照してください。



ワンポイント

- 再生ボタンを押ただけで通話中録音が再生されるようにするには

お買い求め時は再生ボタンを押すと用件が再生されるように設定されているため、通話中録音を再生するにはフォルダを選択する操作が必要です。優先フォルダ設定を「通話録音優先」に変更すると、再生ボタンを押すと通話中録音が再生されるようになります。(P63)

- すべての通話中録音を消去するには

- ①待機中に**[メニュー]**を押す
- ②下ボタンで「3: 録音電話機設定」を選択し、**[決定]**を押す
または**[3]**を押します。
- ③上下ボタンで「2: ファイル管理」を選択し、**[決定]**を押す
または**[2]**を押します。
- ④上下ボタンで「2: 録音先フォルダ消去」を選択し、**[決定]**を押す
または**[2]**を押します。
- ⑤上下ボタンで通話中録音のフォルダを選択し、**[決定]**を押す
または**[2]**～**[5]**を押します。
- ⑥上下ボタンで「1: 消去する」を選択し、**[決定]**を押す
または**[1]**を押します。
- ⑦**[決定]**を押す
すべての通話中録音が消去されます。
[クリア]を長く押し待機画面に戻ります。



お知らせ

- 内線通話やドアホン通話を録音中に話中呼出を受けたときには、通話中録音が終了することがあります。
- 内線通話を録音中に相手の方が保留を解除したときには、通話中録音が終了することがあります。
- 通話中録音をしているときに保留や転送の操作を行うと、録音が解除されます。
- 録音中に満杯になったときや、相手の方が先に電話を切ったときには、録音が終了します。
- ハンズフリー通話中に通話中録音をした場合は、相手の方の声しか録音されないことがあります。また、再生すると声がとぎれていることがあります。
- 会議招集の呼び出し操作や会議通話中の他の内線電話機の操作によって、録音が停止することがあります。この場合は手順1の操作からやり直してください。
- 会議招集の呼び出し操作や割り込みのための内線着信を受けたときには、通話中録音ができないことがあります。
- 1秒以下の録音は、用件の1件として数えられません。



▶ 録音可能時間を確認するには? (P67)

相手の方を確かめてから電話に出るには (居留守応答)

録音IP電話機で応答、録音しているときには、スピーカから相手の方の声を聞き、相手の方を確認してから電話に出る居留守応答をすることができます。

居留守応答する場合は、留守をセットし、留守モニタ (●P64) を「有り」に設定しておく必要があります。お買い求め時は「有り」に設定されています。

- 1** 電話がかかってくると、録音IP電話機が応答する。
スピーカから応答メッセージが聞こえ、「ピーッ」という音のあとに相手の方の声が録音されます。



- 2** 相手の方の声を確認してハンドセットを取りあげ、お話しする。
電話に出ると、用件の録音は止まります。



- 3** お話しが終わったら、ハンドセットを置く。

録音されている用件をお話し中の相手の方と聞くには (居留守応答) (通話中再生)



ワンポイント

- 留守モニタとは
用件録音中、スピーカから相手の方の声が聞こえるようにする機能です。
留守モニタ中は、スピーカボタンを押しても電話を切ることはできません。
- 居留守応答した場合には
居留守応答してハンドセットを置いてても、留守は解除されません。



お知らせ

- 居留守応答で電話に出るまでに録音された内容は、用件の1件として数えられます。
- 留守セット中、録音IP電話機が応答する前に電話に出る場合は、着信している外線ボタンまたは内線ボタンを押してからハンドセットを取りあげます。
- 留守モニタ中に調節したスピーカ音量は、スピーカ受話をしたり、音声呼び出しがあると、スピーカ受話や音声呼び出しの設定音量に戻ります。
- 留守セットしている場合は、録音機能の表示内容がネットコミュニティシステム αNX標準電話機で表示される内容よりも優先されます。

SDカードを利用するには

市販のSDカードを利用して、用件、通話中録音、応答メッセージのバックアップ作成など、録音ファイルの管理が行えます。

SDカードについて

■ SDカードでできること

- 通話中録音を直接SDカードに録音できます。(●P50)
- 用件、通話中録音のバックアップファイルをSDカード内に作成できます。(●P55、56) バックアップファイルを聞くときは、パソコンでmp3再生ソフトを使用します。
- 応答メッセージのバックアップファイルを作成できます。(●P57)
- 応答メッセージのバックアップファイルは、リストア操作で録音IP電話機に戻すことができます。(●P58)
- 応答メッセージのバックアップファイルを他の録音IP電話機にリストアして使用することもできます。

■ 録音可能時間の目安

SDカード容量	最大録音可能時間
32MB	約2時間
64MB	約4時間
128MB	約8時間
256MB	約17時間
512MB	約35時間
1GB	約70時間
2GB	約140時間

■ 録音ファイル名 (用件と通話中録音)

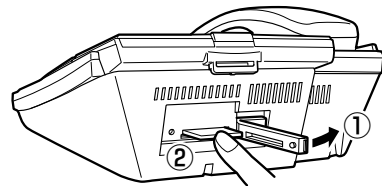
用件ファイル	
REC_YYYYMMDDhhmmss_XXX.mp3	
通話中録音ファイル	
TUW_YYYYMMDDhhmmss_XXX.mp3	

※REC、TUW : 固定
 YYYYMMDDhhmmss : 録音年月日時分秒 (年は西暦4桁)
 XXX : 曜日 (SUN ~ SAT)

応答メッセージファイル	
ANS_01.mp3	応答メッセージ1ファイル
ANS_02.mp3	応答メッセージ2ファイル

■ SDカードを使用する

- ① SDカード差込口のカバーを外します。
- ② SDカードの書き込み禁止スイッチがLOCKの位置にないことを確認します。SDカードのラベル面を上にして、図のようにSDカード差込口に差し込みます。カチッと音がするまでしっかり差し込んでください。未使用のSDカードは、最初にフォーマットを行ってください。(●P59)



■ SDカード内のフォルダ構成

SDカード内には次の構成でフォルダが作成され、各録音ファイルが保存されます。

フォルダ	保存されるファイル
[C] / [D]	SDカードに直接保存された通話中録音ファイル
[R_Backup]	用件バックアップファイル
[A_Backup]	内蔵メモリ [A] フォルダの通話中録音バックアップファイル
[B_Backup]	内蔵メモリ [B] フォルダの通話中録音バックアップファイル
[ANS_Backup]	応答メッセージバックアップファイル

●お願い

- SDカード内のファイル名の変更、プロパティのコメント記載の操作は、パソコンにファイルをコピーしてからパソコンで行ってください。
- パソコンからSDカードへファイルを書き込まないでください。
- 録音中、再生中、フォーマット中、消去中、バックアップ中、リストア中などの動作中は、SDカードを差し込んだり、抜いたりしないでください。SDカード内のデータが破損することがあります。
- 他の機器でフォーマットしたり、使用しているSDカードをご使用になる場合は、本商品でフォーマットしてください。(●P59)



ワンポイント

- 利用できるSDカードは
 利用できるSDカードについては、当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

用件のバックアップを作成する

1 SDカードを差し込みに差し込む。(P54)

2 ハンドセットを置いたまま、**[Xメニュー]**を押す。



1: 電話機毎設定
2: システム一括設定
3: 録音電話機設定

3 下ボタンで「3: 録音電話機設定」を選択し、**[決定]**を押す。

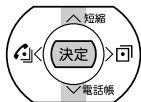
または**[3^{DEF}]**を押します。



1: 用件登録
2: ファイル管理
3: リモート機能
4: セキュリティ

4 上下ボタンで「2: ファイル管理」を選択し、**[決定]**を押す。

または**[2^{ABC}]**を押します。



1: 優先フォルダ設定
2: 録音先フォルダ消去
3: 用件ファイルバックアップ
4: 録音ファイルバックアップ

5 上下ボタンで「3: 用件ファイルバックアップ」を選択し、**[決定]**を押す。

または**[3^{DEF}]**を押します。

用件ファイルバックアップ
0: しない
1: する

6 上下ボタンで「1: する」を選択し、**[決定]**を押す。

または**[1^{*}]**を押します。

用件ファイルバックアップ
決定ボタンで実行します

7 **[決定]**を押す。

用件のバックアップファイルがSDカードに作成されます。



「用件ファイルバックアップ完了しました」と約2秒間表示されます。

[クリア]を長く押し待機画面に戻ります。

お願い

- 「用件ファイルバックアップ完了しました」と表示されるまで、SDカードを抜かないでください。バックアップファイルが破損することがあります。



お知らせ

- 録音IP電話機で、SDカードに作成されたバックアップファイルを再生することはできません。SDカードアダプタが搭載されたパソコンで、mp3再生ソフトを使用して再生してください。



- ▶ 登録・設定中に電話がかかってきたときは？ (P66)
- ▶ 登録・設定を中止するには？ (P66)
- ▶ 操作中や設定中に何もボタンを押さなかった場合は？ (P66)

SDカードを利用するには

通話中録音のバックアップを作成する

1 SDカードを差込口に差し込む。(P54)

2 ハンドセットを置いたまま、**[メニュー]**を押す。



- 1: 電話機毎設定
- 2: システム一括設定
- 3: 録音電話機設定

3 下ボタンで「3: 録音電話機設定」を選択し、**[決定]**を押す。

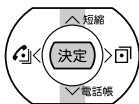
または**[3 DEF]**を押します。



- 1: 用件登録
- 2: ファイル管理
- 3: リモート機能
- 4: セキュリティ

4 上下ボタンで「2: ファイル管理」を選択し、**[決定]**を押す。

または**[2 ABC]**を押します。



- 1: 優先フォルダ設定
- 2: 録音先フォルダ消去
- 3: 用件ファイルバックアップ
- 4: 録音ファイルバックアップ

5 上下ボタンで「4: 録音ファイルバックアップ」を選択し、**[決定]**を押す。

または**[4 OK]**を押します。

- 録音ファイルバックアップ
- 1: [A]フォルダ
 - 2: [B]フォルダ

6 上下ボタンで通話中録音のフォルダを選択し、**[決定]**を押す。

または**[1 *]**か**[2 ABC]**を押します。

- 録音ファイルバックアップ [A]
- 0: しない
 - 1: する

7 上下ボタンで「1: する」を選択し、**[決定]**を押す。
または**[1 *]**を押します。

録音ファイルバックアップ [A]
決定ボタンで実行します

8 **[決定]**を押す。

通話中録音のバックアップファイルがSDカードに作成されます。



「録音ファイルバックアップ [A] 完了しました」と約2秒間表示されます。

[クリア]を長く押し待機画面に戻ります。

お願い

- 「録音ファイルバックアップ完了しました」と表示されるまで、SDカードを抜かないでください。バックアップファイルが破損することがあります。

お知らせ

- 録音IP電話機で、SDカードに作成されたバックアップファイルを再生することはできません。SDカードアダプタが搭載されたパソコンで、mp3再生ソフトを使用して再生してください。



- ▶ 登録・設定中に電話がかかってきたときは？ (P66)
- ▶ 登録・設定を中止するには？ (P66)
- ▶ 操作中や設定中に何もボタンを押さなかった場合は？ (P66)

応答メッセージのバックアップを作成する

1 SDカードを差込口に差し込む。(P54)

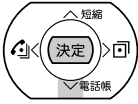
2 ハンドセットを置いたまま、**[メニュー]**を押す。



- 1: 電話機毎設定
- 2: システム一括設定
- 3: 録音電話機設定

3 下ボタンで「3: 録音電話機設定」を選択し、**[決定]**を押す。

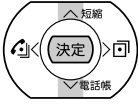
または**[3.def]**を押します。



- 1: 用件登録
- 2: ファイル管理
- 3: リモート機能
- 4: セキュリティ

4 上下ボタンで「2: ファイル管理」を選択し、**[決定]**を押す。

または**[2.abc]**を押します。



- 1: 優先フォルダ設定
- 2: 録音先フォルダ消去
- 3: 用件ファイルバックアップ
- 4: 録音ファイルバックアップ

5 上下ボタンで「6: 応答ファイル管理」を選択し、**[決定]**を押す。

または**[6.mno]**を押します。

- 応答ファイル管理
- 1: バックアップ
- 2: リスト

6 上下ボタンで「1: バックアップ」を選択し、**[決定]**を押す。

または**[1.*]**を押します。

- 応答ファイルバックアップ
- 0: しない
- 1: する

7 上下ボタンで「1: する」を選択し、**[決定]**を押す。
または**[1.*]**を押します。

応答ファイルバックアップ
決定ボタンで実行します

8 **[決定]**を押す。

応答メッセージのバックアップファイルがSDカードに作成されます。



「応答ファイルバックアップ完了しました」と約2秒間表示されます。

[クリア]を長く押し待機画面に戻ります。

SDカードを利用するには

6より便利に使う

STOP お願い

- 「応答ファイルバックアップ完了しました」と表示されるまで、SDカードを抜かないでください。バックアップファイルが破損することがあります。



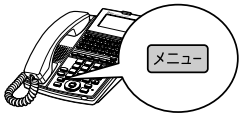
- ▶ 登録・設定中に電話がかかってきたときは？ (P66)
- ▶ 登録・設定を中止するには？ (P66)
- ▶ 操作中や設定中に何もボタンを押さなかった場合は？ (P66)

SDカードを利用するには

応答メッセージをリストアする

1 SDカードを差し込口に差し込む。(P54)

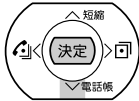
2 ハンドセットを置いたまま、**メニュー**を押す。



- 1: 電話機毎設定
- 2: システム一括設定
- 3: 録音電話機設定

3 下ボタンで「3: 録音電話機設定」を選択し、**決定**を押す。

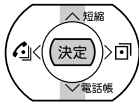
または **3^{OFF}**を押します。



- 1: 用件登録
- 2: ファイル管理
- 3: リモート機能
- 4: セキュリティ

4 上下ボタンで「2: ファイル管理」を選択し、**決定**を押す。

または **2^{ABC}**を押します。



- 1: 優先フォルダ設定
- 2: 録音先フォルダ消去
- 3: 用件ファイルバックアップ
- 4: 録音ファイルバックアップ

5 上下ボタンで「6: 応答ファイル管理」を選択し、**決定**を押す。

または **6^は**を押します。

- 応答ファイル管理
- 1: バックアップ
- 2: リストア

6 上下ボタンで「2: リストア」を選択し、**決定**を押す。

または **2^{ABC}**を押します。

- 応答ファイルリストア
- 0: しない
- 1: する

7 上下ボタンで「1: する」を選択し、**決定**を押す。

または **1^{*}**を押します。

- 応答ファイルリストア
- 決定ボタンで実行します

8 **決定**を押す。
バックアップファイルから応答メッセージがリストアされます。



「応答ファイルリストア完了しました」と約2秒間表示されます。

クリアを長く押し待機画面に戻ります。

お願い

● 「応答ファイルリストア完了しました」と表示されるまで、SDカードを抜かないでください。バックアップファイルが破損することがあります。




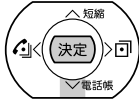
- ▶ 登録・設定中に電話がかかってきたときは？ (P66)
- ▶ 登録・設定を中止するには？ (P66)
- ▶ 操作中や設定中に何もボタンを押さなかった場合は？ (P66)


内蔵メモリやSDカードの内容を すべて消去するには

フォーマット機能で内蔵メモリ内の用件、通話中録音、応答メッセージをすべて消去することができます。また、SDカード内に保存された通話中録音、バックアップファイルなどのすべてのファイルを消去することもできます。未使用のSDカードを差し込んだ場合は、SDカードを使用できる形式にフォーマットします。

〈例〉SDカードをフォーマットするとき

- 1 SDカードを差し込みに差し込む。(P54)
- 2 ハンドセットを置いたまま、**[メニュー]**を押す。


1: 電話機毎設定
 2: システム一括設定
 3: 録音電話機設定
- 3 下ボタンで「3: 録音電話機設定」を選択し、**[決定]**を押す。
 または**[3.FF]**を押します。


1: 用件登録
 2: ファイル管理
 3: リモート機能
 4: セキュリティ
- 4 上下ボタンで「2: ファイル管理」を選択し、**[決定]**を押す。
 または**[2.ABC]**を押します。


1: 優先フォルダ設定
 2: 録音先フォルダ消去
 3: 用件ファイルバックアップ
 4: 録音ファイルバックアップ
- 5 上下ボタンで「5: フォーマット」を選択し、**[決定]**を押す。
 または**[5.SL]**を押します。

フォーマット
 1: 内蔵メモリ
 2: SDカード
- 6 上下ボタンで「2: SDカード」を選択し、**[決定]**を押す。
 または**[2.ABC]**を押します。

SDカードフォーマット
 0: しない
 1: する
- 7 上下ボタンで「1: する」を選択し、**[決定]**を押す。
 または**[1*]**を押します。

SDカードフォーマット
 決定ボタンで実行します

- 8 **[決定]**を押す。
SDカードがフォーマットされます。



「SDカードフォーマット完了しました」と約2秒間表示されます。
[クリア]を長く押し待機画面に戻ります。

ワンポイント

- 内蔵メモリをフォーマットするには
手順1でSDカードを差し込む必要はありません。手順6で「1: 内蔵メモリ」を選択します。他の操作はSDカードのフォーマットと同じです。

お願い

- SDカードをフォーマットするときは、「SDカードフォーマット完了しました」と表示されるまで、SDカードを抜かないでください。SDカード内のデータが破損することがあります。



- ▶ 登録・設定中に電話がかかってきたときは？ (P66)
- ▶ 登録・設定を中止するには？ (P66)
- ▶ 操作中や設定中に何もボタンを押さなかった場合は？ (P66)

内蔵メモリやSDカードの内容をすべて消去するにはSDカードを利用するには

お買い求め時の設定に戻すには (留守機能データクリア)

留守機能の登録・設定内容をお買い求め時の設定に戻すことができます。

1 ハンドセットを置いたまま、**[メニュー]**を押す。



- 1: 電話機能設定
- 2: システム一括設定
- 3: 録音電話機設定

2 下ボタンで「3: 録音電話機設定」を選択し、**[決定]**を押す。

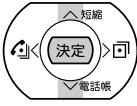
または**[3^{OK}]**を押します。



- 1: 用件登録
- 2: ファイル管理
- 3: リモート機能
- 4: セキュリティ

3 上下ボタンで「5: その他」を選択し、**[決定]**を押す。

または**[5^{OK}]**を押します。



- 1: 留守留守設定
- 2: 留守録外線捕捉特番
- 3: 収容回線種別設定
- 4: 上位PBX外線捕捉

4 上下ボタンで「5: 留守機能データクリア」を選択し、**[決定]**を押す。

または**[5^{OK}]**を押します。

暗証番号入力

5 現在の暗証番号(3～6桁の数字)をダイヤルボタンで入力する。

入力した暗証番号は「*」で表示されます。

1 あ	2 か ABC	3 き DEF
4 た GHI	5 な JKL	6 は MNO
7 ち PQRS	8 ね TUV	9 り WXYZ
* *	0 わかん	# 記号

暗証番号入力

間違えたときは、**[クリア]**を押して消去してから入力し直します。

6 **[決定]**を押す。



- 留守機能データクリア
- 0: クリアしない
- 1: クリアする

7 上下ボタンで「1: クリアする」を選択し、**[決定]**を押す。

または**[1^{*}]**を押します。

留守機能データクリア
決定ボタンで消去します

上下ボタンで「0: クリアしない」を選択して**[決定]**を押すか、**[0^{OK}]**を押すと、データクリアを中止します。

8 **[決定]**を押す。

留守機能データがクリアされ、再起動します。



ワンポイント

●お買い求め時の設定に戻せるのは

- 用件登録 (●P62)、ファイル管理 (●P63)、リモート機能 (●P64)、セキュリティ (●P64)、その他 (●P65) の登録・設定内容がお買い求め時の設定に戻ります。
- 用件、通話中録音、応答メッセージは消去されません。

●用件、通話中録音、応答メッセージをすべて消去するにはフォーマットを行ってください。(●P59)



お知らせ

●手順5で暗証番号を間違えた場合は、「暗証番号が違います」と表示されます。**[クリア]**を押して、もう一度操作をやり直してください。



- ▶ 登録・設定中に電話がかかってきたときは? (●P66)
- ▶ 登録・設定を中止するには? (●P66)
- ▶ 操作中や設定中に何もボタンを押さなかった場合は? (●P66)
- ▶ 入力した内容を一度に消去するには? (●P66)

いろいろな機能を登録・設定するには

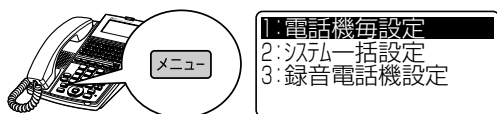
録音IP電話機設定（メインメニュー）の登録・設定機能一覧（☛P62）に示すいろいろな機能を登録・設定することができます。

登録・設定操作の流れ

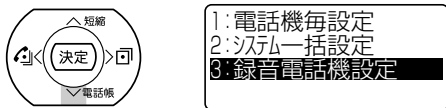
登録・設定操作は、順々に機能を表示させる方法と、機能番号を入力して目的の機能を表示させる方法の2通りがあります。

機能を順番に表示させて設定する

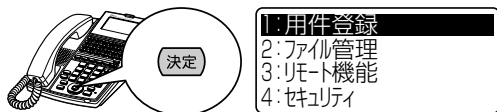
- 1 ハンドセットを置いたまま、**[メニュー]**を押す。
メインメニューが表示され、機能登録モードに切り替わります。



- 2 下ボタンで「3:録音電話機設定」を選択する。



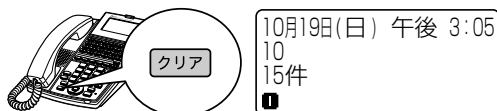
- 3 **[決定]**を押す。



- 4 上下ボタンを押してメニューや機能を選択し、**[決定]**を押す操作を繰り返して、設定の変更や登録を行う。

録音IP電話機設定（メインメニュー）の登録・設定機能一覧（☛P62）

- 5 **[クリア]**を長く押す。
または、ハンドセットを取りあげたあと、そのまま置きます。
機能登録モードが終了し、待機画面に戻ります。

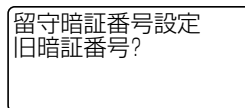


機能番号で機能を選択して設定する

- 1 ハンドセットを置いたまま、**[メニュー]**を押す。
メインメニューが表示され、機能登録モードに切り替わります。



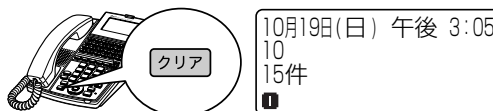
- 2 機能番号（☛P62）をダイヤルボタンで入力する。
〈例〉留守暗証番号設定…機能番号 **3** **4** **1**



録音IP電話機設定（メインメニュー）の登録・設定機能一覧（☛P62）

- 3 設定の変更や登録を行う。

- 4 **[クリア]**を長く押す。
または、ハンドセットを取りあげたあと、そのまま置きます。
機能登録モードが終了し、待機画面に戻ります。



お知らせ

- ネットコミュニティシステム αNX typeS/typeMに接続してお使いの場合は、外の相手の方と通話中に手順1のメインメニューを表示することはできませんが、手順2で「3:録音電話機設定」を選択するとエラー画面が表示されます。**[クリア]**を長く押すと通話中の画面に戻ります。
- ネットコミュニティシステム αNX typeL（主装置タイプ） / （サーバタイプ）に接続してお使いの場合は、通話中に登録・設定することはできません。

Q&A

- ▶ 登録・設定中に電話がかかってきたときは？（☛P66）
- ▶ 登録・設定を中止するには？（☛P66）
- ▶ 操作中や設定中に何もボタンを押さなかった場合は？（☛P66）
- ▶ 一つ前のメニューに戻るには？（☛P66）

お買い求め時の設定に戻すには（留守機能データクリア）
いろいろな機能を登録・設定するには

いろいろな機能を登録・設定するには

録音IP電話機設定（メインメニュー）の登録・設定機能一覧

お買い求め時は に設定されています。

登録・設定項目	機能番号	設定内容
用件登録 用件録音時間設定 (☛P32)	3 DEF, 1 あ, 1 あ	1 あ : 1分 2 ABC : 2分 3 DEF : 3分 4 GH : 4分 5 JKL : 5分
用件録音／トーカー設 定 (☛P29)	3 DEF, 1 あ, 2 ABC	用件録音／トーカー 0 PEAR : 留守 1 あ : トーカー 2 ABC : 共用 トーカー再生モード 0 PEAR : ワンショット (1回のみ) 1 あ : ループ (3回繰り返し)
自動応答時間設定 (☛P32)	3 DEF, 1 あ, 3 DEF	0 PEAR : トールセイバ 1 あ : 3秒 2 ABC : 6秒 3 DEF : 9秒 4 GH : 12秒 5 JKL : 15秒 6 MNO : 18秒 7 PQRS : 21秒 8 TUV : 24秒 9 WXYZ : 27秒
自動応答回線設定 (☛P19、31、45)	3 DEF, 1 あ, 4 GH	<input type="checkbox"/> 外線1～24または <input type="checkbox"/> 内線 (外線) 回線ごとに以下を設定 0 PEAR : しない 1 あ : する
アクムレート録音 設定 (☛P32)	3 DEF, 1 あ, 5 JKL	0 PEAR : 無し 1 あ : 有り
無音検出設定 (☛P21)	3 DEF, 1 あ, 6 MNO	0 PEAR : 無し 1 あ : 有り
応答メッセージ録音時 間設定 (☛P32)	3 DEF, 1 あ, 7 PQRS	0 PEAR : 標準 (約15秒) 1 あ : 長時間 (最大約15分)
用件録音レベル設定 (☛P32)	3 DEF, 1 あ, 8 TUV	音量 1 あ : レベル1 (標準) 2 ABC : レベル2 3 DEF : レベル3 4 GH : レベル4 5 JKL : レベル5 (音量大)

お買い求め時は に設定されています。

登録・設定項目		機能番号	設定内容	
ファイル管理	優先フォルダ設定 (☛P51)	<input type="checkbox"/> DEF <input type="checkbox"/> ABC <input type="checkbox"/> 1あ	<input type="checkbox"/> DEF : 用件優先 <input type="checkbox"/> 1あ : 通話録音優先	
	録音先フォルダ 消去 (☛P25、51)	全てのフォルダ	<input type="checkbox"/> DEF <input type="checkbox"/> ABC <input type="checkbox"/> 2あ <input type="checkbox"/> 0DEF	<input type="checkbox"/> DEF : 消去しない <input type="checkbox"/> 1あ : 消去する
		用件フォルダ	<input type="checkbox"/> DEF <input type="checkbox"/> ABC <input type="checkbox"/> 2あ <input type="checkbox"/> 1あ	
		[A] フォルダ	<input type="checkbox"/> DEF <input type="checkbox"/> ABC <input type="checkbox"/> 2あ <input type="checkbox"/> 2あ	
		[B] フォルダ	<input type="checkbox"/> DEF <input type="checkbox"/> ABC <input type="checkbox"/> 2あ <input type="checkbox"/> 3DEF	
		[C] フォルダ	<input type="checkbox"/> DEF <input type="checkbox"/> ABC <input type="checkbox"/> 2あ <input type="checkbox"/> 4EGR	
	[D] フォルダ	<input type="checkbox"/> DEF <input type="checkbox"/> ABC <input type="checkbox"/> 2あ <input type="checkbox"/> 5JKL		
	用件ファイルバックアップ (☛P55)	<input type="checkbox"/> DEF <input type="checkbox"/> ABC <input type="checkbox"/> 3DEF	<input type="checkbox"/> DEF : しない <input type="checkbox"/> 1あ : する	
	録音ファイル バックアップ (☛P56)	[A] フォルダ	<input type="checkbox"/> DEF <input type="checkbox"/> ABC <input type="checkbox"/> 4GHI <input type="checkbox"/> 1あ	<input type="checkbox"/> DEF : しない <input type="checkbox"/> 1あ : する
		[B] フォルダ	<input type="checkbox"/> DEF <input type="checkbox"/> ABC <input type="checkbox"/> 4GHI <input type="checkbox"/> 2あ	
フォーマット (☛P59)	内蔵メモリ	<input type="checkbox"/> DEF <input type="checkbox"/> ABC <input type="checkbox"/> 5JKL <input type="checkbox"/> 1あ	<input type="checkbox"/> DEF : しない <input type="checkbox"/> 1あ : する	
	SDカード	<input type="checkbox"/> DEF <input type="checkbox"/> ABC <input type="checkbox"/> 5JKL <input type="checkbox"/> 2あ		
応答ファイル管理 (☛P57、58)	バックアップ	<input type="checkbox"/> DEF <input type="checkbox"/> ABC <input type="checkbox"/> 6MNO <input type="checkbox"/> 1あ	<input type="checkbox"/> DEF : しない <input type="checkbox"/> 1あ : する	
	リストア	<input type="checkbox"/> DEF <input type="checkbox"/> ABC <input type="checkbox"/> 6MNO <input type="checkbox"/> 2あ		

(次ページへつづく)

いろいろな機能を登録・設定するには

6より便利に使う



お知らせ

- 無音検出を「無し」に設定した場合、接続する主装置によっては機能の組み合わせにより、用件録音の終了が遅れることがあります。
- 録音IP電話機を複数接続してご使用になるときは、着信に応答する外線は、それぞれの録音IP電話機どうしで重複させないでください。

いろいろな機能を登録・設定するには

お買い求め時は に設定されています。

登録・設定項目	機能番号	設定内容
リモート機能	転送機能 転送設定 (P36)	<input type="checkbox"/> 3 DEF : 無し <input type="checkbox"/> 1 あ : 有り
	転送先電話番号登録 (P34)	<input type="checkbox"/> 3 DEF : 無し <input type="checkbox"/> 2 ABC : 有り <input type="checkbox"/> 1 あ <input type="checkbox"/> 2 abc <input type="checkbox"/> 3 abc <input type="checkbox"/> 4 abc <input type="checkbox"/> 5 abc <input type="checkbox"/> 6 abc <input type="checkbox"/> 7 abc <input type="checkbox"/> 8 abc <input type="checkbox"/> 9 abc <input type="checkbox"/> * 0 # (最大32桁) ※お買い求め時の設定は、電話番号なし
	転送有効条件設定 (P37)	<input type="checkbox"/> 3 DEF : 無し (転送条件なし) <input type="checkbox"/> 1 あ : 有効録音有り (3秒以上の用件メッセージを転送する)
	転送外線捕捉特番	<input type="checkbox"/> 3 DEF : 無し <input type="checkbox"/> 4 GHI : 有り <input type="checkbox"/> 1 あ <input type="checkbox"/> 2 abc <input type="checkbox"/> 3 abc <input type="checkbox"/> 4 abc <input type="checkbox"/> 5 abc <input type="checkbox"/> 6 abc <input type="checkbox"/> 7 abc <input type="checkbox"/> 8 abc <input type="checkbox"/> 9 abc <input type="checkbox"/> * 0 # (最大4桁) ・発信時の外線捕捉特番を設定します。主装置システム設定の外線捕捉特番と一致させる必要があります。また、「登録なし」にした場合には主装置システム設定の発信自動捕捉設定により自動捕捉する回線で発信します。 ・「登録なし」にする場合は「クリア」を長く押します。 ※お買い求め時の設定は「0」
	遅延着信応答設定 (P45)	<input type="checkbox"/> 3 DEF : 無し <input type="checkbox"/> 2 ABC : 有り
	留守モニタ設定 (P53)	<input type="checkbox"/> 3 DEF : 無し <input type="checkbox"/> 1 あ : 有り
セキュリティ	暗証スキップ番号登録 (P46)	暗証番号を入力しないで用件を聞ける電話機の電話番号 <input type="checkbox"/> 3 DEF : 無し <input type="checkbox"/> 4 GHI : 有り <input type="checkbox"/> 1 あ <input type="checkbox"/> 2 abc <input type="checkbox"/> 3 abc <input type="checkbox"/> 4 abc <input type="checkbox"/> 5 abc <input type="checkbox"/> 6 abc <input type="checkbox"/> 7 abc <input type="checkbox"/> 8 abc <input type="checkbox"/> 9 abc <input type="checkbox"/> * 0 # (最大32桁) ※お買い求め時の設定は、電話番号なし
	留守暗証番号設定 (P41)	<input type="checkbox"/> 3 DEF : 無し <input type="checkbox"/> 4 GHI : 有り <input type="checkbox"/> 1 あ : 有り <input type="checkbox"/> 1 あ <input type="checkbox"/> 2 abc <input type="checkbox"/> 3 abc <input type="checkbox"/> 4 abc <input type="checkbox"/> 5 abc <input type="checkbox"/> 6 abc <input type="checkbox"/> 7 abc <input type="checkbox"/> 8 abc <input type="checkbox"/> 9 abc <input type="checkbox"/> * 0 # (3～6桁の数字) ※お買い求め時は「0000」
	留守機能ロック設定 (P28) ※設定時は暗証番号の入力が必要です。	<input type="checkbox"/> 3 DEF : ロックしない <input type="checkbox"/> 2 ABC : ロックする
リモート操作ガード設定 (P40)	<input type="checkbox"/> 3 DEF : ガード無し <input type="checkbox"/> 1 あ : ガード有り	

お買い求め時は に設定されています。

登録・設定項目	機能番号	設定内容
その他 タイム留守設定 (●P30)	<input type="checkbox"/> 3 DEF <input type="checkbox"/> 5 GHI <input type="checkbox"/> 1 *	留守をセットする時刻 <input type="checkbox"/> 1 2 3 <input type="checkbox"/> 4 5 6 <input type="checkbox"/> 7 8 9 <input type="checkbox"/> 0 時 (00 ~ 23)、分 (00 ~ 59) ※設定時刻を解除するときは「クリア」を長く押します。 留守をセットする曜日 (曜日ごとに以下を設定する) <input type="checkbox"/> 0 DEF : 留守セットしない <input type="checkbox"/> 1 * : 応答メッセージ1で留守セットする <input type="checkbox"/> 2 ABC : 応答メッセージ2で留守セットする <input type="checkbox"/> 3 DEF : 内蔵メッセージで留守セットする ※お買い求め時の設定は、時刻設定なし、曜日ごとの設定はすべて「0」
留守録外線捕捉特番	<input type="checkbox"/> 3 DEF <input type="checkbox"/> 5 GHI <input type="checkbox"/> 2 ABC	<input type="checkbox"/> 1 2 3 <input type="checkbox"/> 4 5 6 <input type="checkbox"/> 7 8 9 <input type="checkbox"/> 0 (最大4桁) ・発信時の外線捕捉特番を設定します。主装置システム設定の外線捕捉特番と一致させる必要があります。また、「登録なし」にした場合には主装置システム設定の発信自動捕捉設定により自動捕捉する回線で発信します。 ・「登録なし」にする場合は「クリア」を長く押します。 ※お買い求め時の設定は「0」
収容回線種別設定	<input type="checkbox"/> 3 DEF <input type="checkbox"/> 5 GHI <input type="checkbox"/> 3 DEF	<input type="checkbox"/> 外線1 ~ 24 (外線) 外線ごとに以下を設定 <input type="checkbox"/> 0 DEF : 一般 (一般回線) <input type="checkbox"/> 1 * : PBX <input type="checkbox"/> 2 ABC : CES ・主装置をPBX (構内交換機) やCES (事業所集団電話) に接続してご利用の場合は、収容回線種別を設定します。主装置システム設定の収容外線種別と一致させる必要があります。
上位PBX外線捕捉特番	<input type="checkbox"/> 3 DEF <input type="checkbox"/> 5 GHI <input type="checkbox"/> 4 GHI	<input type="checkbox"/> 1 2 3 <input type="checkbox"/> 4 5 6 <input type="checkbox"/> 7 8 9 <input type="checkbox"/> 0 (最大4桁) ・主装置をPBX (構内交換機) やCES (事業所集団電話) に接続してご利用の場合は、上位PBX外線捕捉特番を設定します。主装置システム設定の外線捕捉特番と一致させる必要があります。 ※お買い求め時の設定は「0」
留守機能データ クリア (●P60) ※設定時は暗証番号の入力が必要です。	<input type="checkbox"/> 3 DEF <input type="checkbox"/> 5 GHI <input type="checkbox"/> 5 GHI	<input type="checkbox"/> 0 DEF : クリアしない <input type="checkbox"/> 1 * : クリアする
赤外線電話帳登録 (●P49)	<input type="checkbox"/> 3 DEF <input type="checkbox"/> 6 MNO	(以降は電話帳登録操作となる) ・主装置の電話帳登録操作を参照してください。

いろいろな機能を登録・設定するには

6より便利に使う

「こんなことがしたい」などといった場合で、お役にたつ便利な操作や操作中の注意点などを、テーマ別に質問形式でまとめています。本文中から、アイコンを目印にして簡単に参照できるようになっています。

音量

Q 用件や応答メッセージの再生中に音量を調節するには？

A 再生中に音量調節ボタン（ \wedge / \vee ）を押します。「ピッ」というボリューム確認音が鳴り、音量が変わります。
 ・ スピーカ音量は8段階、ハンドセット受話音量は4段階で調節できます。
 ・ 再生中に調節したスピーカ音量は、スピーカ受話をしたり、音声呼び出しがあったりすると、スピーカ受話や音声呼び出しの設定音量に変わります。

Q 用件や応答メッセージの再生中にハンドセット受話音量をさらに上げるには？

A 再生中に音量調節ボタン（ \wedge ）を長く押し、ハンドセットからの受話音量をさらに大きくできる「明瞭モード」への切り替えが行えます。
 ・ 明瞭モード内でもハンドセット受話音量は7段階で調節できます。通常の音量に戻すには、音量調節ボタン（ \vee ）を長く押し、明瞭モードに切り替えても、再生を終了するか、ハンドセットを置くと、スピーカ受話にすると通常の音量に戻ります。
 ・ 「明瞭モード」へ切り替えたとときに、「サー」という音が聞こえることがありますが、故障ではありません。

登録・設定操作

Q 登録・設定中に電話がかかってきたときは？

A 電話を受けると登録操作が中止されます。通話終了後、もう一度最初からやり直してください。

Q 操作中や設定中に何もボタンを押さなかった場合は？

A 約60秒間何もボタンを押さないと、登録操作が中止され、待機画面に戻ります。

Q 登録・設定を中止するには？

A クリア を長く押し、登録操作が中止され、待機画面に戻ります。

Q 一つ前のメニューに戻るには？

A クリア を押し、

Q 入力した内容を一度に消去するには？

A クリア を長く押し、

Q 留守機能ロックが設定されているときは？

A 留守機能ロック（▶P28）が設定されているときは、以下の手順で操作します。
 ・ ①ハンドセットを置いたまま次のボタンを押す
 留守を解除するとき 留守ボタン
 用件を再生するとき 再生ボタン
 応答メッセージを録音するとき 応答ボタン
 ・ ②暗証番号（3～6桁）をダイヤルボタンで入力する

Q 暗証番号を間違えたときは？

A 「暗証番号が違います」と表示されます。クリア を押し、もう一度操作をやり直してください。

Q リモコン操作で暗証番号を3回間違えたときは？

A 暗証番号を3回間違えて自動的に電話が切れたあとは、暗証番号を1回間違えただけで自動的に電話が切れるようになります（暗証破りガード）。
 ・ 留守を再セットすると暗証破りガードは解除され、暗証番号を3回まで入力できるようになります。

停電になったときは

停電になった場合でも、各種設定は保持されています。停電が復旧したときに、設定し直す必要はありません。

録音IP電話機は、主装置がバックアップ電池による動作中でも、主装置から電源供給を受けていないため使用できません。

●停電時には以下の点にご注意ください

電話をかけるには	電話はかけられません
電話がかかってきたときは	着信音が鳴らず、電話は受けられません
内線やドアホンとのお話しは	内線やドアホンとのお話しはできません
用件録音中や通話中のお話しを録音中、応答メッセージ録音中に停電になったときは	録音中の内容は消え、録音されません 録音中に停電になったときは、録音の残り時間が少なくなることがありますので、録音内容をバックアップしてから、録音していたメモリをフォーマットしてください 内蔵メモリをフォーマットしたあとは、応答メッセージをリストアしてください <ul style="list-style-type: none"> • 用件のバックアップを作成する (●P55) • 通話中録音のバックアップを作成する (●P56) • 応答メッセージのバックアップを作成する (●P57) • 応答メッセージをリストアする (●P58) • 内蔵メモリやSDカードの内容をすべて消去するには (フォーマット) (●P59)



お知らせ

- 停電中は、カレンダー・時計表示は消えますが、設定内容はそのままです。
- 停電が復旧したら自動的に通常の状態に戻ります。
- リモコン操作により留守セットおよび留守解除したときは、主装置がバックアップ電池による動作をできなくなった場合、リモコン操作による留守セットおよび留守解除は保持されません。
- 主装置の停電時の動作およびバックアップ電池については、接続している主装置の取扱説明書をご参照ください。

こんな音がしたら

	音	こんなときに…	音の意味
電話をかける／受ける	ツーツー… (内線発信音)	ハンドセットを取りあげたとき または内線ボタンを押したとき	他の内線電話機を呼び出せます
	ツー (外線発信音)	外線ボタンを押したとき	電話をかけられます
	ブルルル… (呼出音)	外線または内線で相手の方を呼び出し しているとき	相手の方を呼び出しています
	プープー… (話中音)	電話をかけた相手の方がお話し中のとき または他の内線電話機が使用中のとき	お話し中です
その他	ピピ (登録確認音)	登録を受け付けたとき	登録されました
	ピッ (キータッチトーン)	ボタンを押したとき	ボタンが押されました



お知らせ

●音は接続している主装置により異なる場合があります。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に次の点をご確認ください。

留守番・録音機能以外の電話機能についてはご使用になっている主装置の取扱説明書の「故障かな？と思ったら」のページをご確認ください。

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
留守をセットできない	ハンドセットが外れている	ハンドセットを置いてください	☛P18
	スピーカランプがついている	スピーカボタンを押して、ランプを消してください	—
留守を解除できない	ハンドセットが外れている	ハンドセットを置いてください	☛P20
	スピーカランプがついている	スピーカボタンを押して、ランプを消してください	—
	自動応答を設定した回線が着信中、または自動応答中	応答が終了するまで待ってください	—
	留守機能ロックが設定されている	暗証番号を入力するか、留守機能ロックを解除してください	☛P28,66
応答メッセージ1で留守セットできない	応答メッセージ1が録音されていない	応答メッセージ1を録音してください	☛P26
	応答メッセージ1を選択していない	応答メッセージ1を選択してください	☛P18
応答メッセージ2で留守セットできない	応答メッセージ2が録音されていない	応答メッセージ2を録音してください	☛P26
	応答メッセージ2を選択していない	応答メッセージ2を選択してください	☛P18
留守にセットしたとき、応答メッセージが聞こえない	応答メッセージを録音するとき、無音で録音した	もう一度録音をやり直してください	☛P26
	スピーカ音量が小さくなっている	スピーカ音量を調節してください	—
応答メッセージを録音／再生／消去できない	ハンドセットが外れている	ハンドセットを置いてください	☛P26
	録音が満杯なため	録音されている用件を確認して消去してください	☛P24,25
	留守機能ロックが設定されている	暗証番号を入力するか、留守機能ロックを解除してください	☛P28,66
自作の応答メッセージが消えている	1秒以内の録音をした	もう一度録音をやり直してください	☛P27
留守中に応答しない	停電のため	故障ではありません	—
	着信鳴動設定をしていない	自動応答させる回線に着信鳴動を設定してください（主装置データ設定）	—
	自動応答する内線・外線を設定していない	自動応答する内線・外線を設定してください（自動応答回線設定）	☛P62
内蔵の応答専用メッセージに変わる	録音が満杯なため	録音されている用件を確認して消去してください	☛P24,25
用件がきちんと録音されていない	相手の方の声が小さかったため	故障ではありません	—
	相手の方が約10秒間何も話さなかったため	故障ではありません	—
	回線状態が悪いため	用件が不明瞭に聞こえますが、故障ではありません	—
	相手の方が何も話さずに電話を切ったため	故障ではありません	—
	お話しの途中で録音が満杯になったため	故障ではありません	—

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
用件を録音できる時間が短い	用件録音中や通話中のお話しを録音中、応答メッセージ録音中に停電になったことがある	<ul style="list-style-type: none"> 録音中に停電になったときは、録音の残り時間が少なくなることがありますので、録音内容をバックアップしてから、録音していたメモリをフォーマットしてください 内蔵メモリをフォーマットしたあとは、応答メッセージをリストアしてください 	☛P55,56,57,58,59
通話中のお話しを録音できる時間が短い			
応答メッセージを録音できる時間が短い			
用件が録音できない	用件録音トーカーの設定がトーカーモードに設定されている	設定を変更してください	☛P29,62
	用件が満杯になっている	録音されている用件を確認して消去してください	☛P24,25
用件を再生/消去できない	自動応答を設定した回線が着信中、または自動応答中	応答が終了するまで待ってください	—
	留守機能ロックが設定されている	暗証番号を入力するか、留守機能ロックを解除してください	☛P28,66
すべての用件を消去することができない	留守がセットされている	留守を解除してから操作してください	☛P25
留守セットしていないのに応答する	タイマ留守設定をしている	タイマ留守設定を解除してください	☛P31
	遅延着信応答を「有り」に設定している	応答しないようにするには、遅延着信応答を「無し」に設定してください	☛P64
留守を解除したとき用件数がスピーカから流れない	スピーカ音量が小さくなっている	スピーカ音量を調節してください	—
応答するまでの着信音の回数が違う	トールセイバに設定されている	自動応答時間の設定を変更してください	☛P62
	自動応答する内線・外線への着信が輻輳した	故障ではありません	—
転送をしない	転送先の電話番号が登録されていない	転送先の電話番号を登録してください	☛P34
	転送をセットしていない	転送をセットしてください	☛P36
	転送先がお話し中のため	故障ではありません	—
	転送先で電話に出なかったため	故障ではありません	—
	用件がきちんと録音されていない	故障ではありません	—
	用件が満杯になっている	録音されている用件を確認して消去してください	☛P24,25
	留守をセットしていない	留守をセットしてください	☛P18
	転送外線捕捉特番が正しくない	主装置の設定に正しく合わせてください	☛P64
回線が混み合っている	故障ではありません	—	
転送されてきた用件を聞けない	転送先の電話機でプッシュ信号を送ることができない	プッシュ信号を送ることのできる電話機を転送先にしてください	☛P38
留守モニタができない	留守モニタを「有り」に設定していない	留守モニタを「有り」に設定してください	☛P64
用件がすぐ満杯になる	アキュームレート録音を「有り」に設定している	アキュームレート録音を「無し」に設定してください	☛P62

(次ページへつづく)

故障かな？と思ったら

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
SDカードが使えない	SDカードの書き込み禁止スイッチがLOCKの位置にある	SDカードの書き込み禁止スイッチのLOCKを解除してください	—
	フォーマットしていないSDカードを使用している	SDカードをフォーマットしてください	☛P59
	他の機器でフォーマットしたSDカードを使用している		
	他の機器で使用中のSDカードを使用している		

●リモコン操作

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
外出先からのリモコン操作ができない	ブッシュ信号の出せる電話機で操作していない	ブッシュ信号の出せる電話機で操作してください	☛P39
	暗証番号を間違えて押した	正しい暗証番号を押してください	—
	最初のⓂが認識されていない	最初のⓂを応答メッセージが止まるまで長めに押してください	☛P39
	携帯電話を使って操作した	故障ではありません	☛P39
	リモート操作ガードが設定されている	リモート操作ガードを解除してください	☛P40

アルファベット

LANケーブル固定用溝	12
LANポート	12
PCポート	12
SDカード	54
SDカードの内容をすべて消去する	59,63
応答メッセージのバックアップを 作成する	57,63
応答メッセージをリストアする	58,63
通話中録音のバックアップを 作成する	56,63
用件のバックアップを作成する	55,63
SDカード差込口	12

五十音

【ア行】

アキュムレート録音	32,62
暗証スキップ番号登録	46,64
暗証番号	41
暗証番号を入力しないで用件を聞く	46,64
留守暗証番号設定	41,64
居留守応答	53
応答専用メッセージ	17
応答ボタン	11
応答メッセージ	17,18
再生する	26,44
自作のメッセージを録音する	26
消去する	26
セットする	18
バックアップを作成する	57,63
ハンドセットで聞く	26
リストアする	58,63
応答メッセージ録音時間	32,62
応答録音メッセージ	17
音量	
応答メッセージ再生の音量を調節する	66
用件再生の音量を調節する	66

【カ行】

機能登録モード	61
機能番号	62

携帯電話

携帯電話の電話帳で電話をかける	48
携帯電話の電話帳を主装置の電話帳に 登録する	49
故障かな?と思ったら	70
こんな音がしたら	69

【サ行】

再生

応答メッセージを再生する	26,44
通話中録音を再生する	51
用件再生中にできる操作	20,43,52
用件再生の音量を調節する	66
用件や応答メッセージを再生できない ようにする	28
用件を再生する	20,22
用件を通話中に再生する	52
留守機能ロックが設定されているとき 用件を再生する	66
再生ボタン	11
自動応答回線	45,62
自動応答時間	32,62
収容回線種別	65
仕様	76
上位PBX外線捕捉特番	65
消去	
一括消去する	59,63
応答メッセージを消去する	26
用件を消去する	24,25

赤外線受光部	11,47
赤外線通信	47
携帯電話の電話帳で電話をかける	48
携帯電話の電話帳を主装置の電話帳に 登録する	49
赤外線電話帳登録	49,65

【タ行】

タイマ留守	30
ダイレクトリモコン	43
ダイレクトリモコン操作番号	44
遅延着信応答	45,64
通話中再生	52
通話中録音	50
停止ボタン	11

- ディスプレイ 11,14
- 停電 68
- 転送 33
 - 解除する 36
 - セットする 36
 - 転送先で用件を聞く 38
 - 転送先の電話番号を登録する 34
 - 用件を受けられる電話機 38
 - リモコン操作で解除/セットする 42,43
- 転送外線捕捉特番 64
- 転送先電話番号登録 34,64
- 転送有効条件 37,64
- 電話帳
 - 携帯電話の電話帳で電話をかける 48
 - 携帯電話の電話帳を主装置の電話帳に
登録する 49
- 電話に出る
 - 相手の方を確かめてから 53
 - 応答メッセージ再生中 67
 - 応答メッセージ録音中 67
 - 用件再生中 67
- 電話をかける
 - 用件録音された相手にかけ直す 23
- 登録・設定
 - 登録・設定操作の流れ 61
 - 登録・設定中に電話がかかってきたとき 66
 - 登録・設定を中止する 66
- トーキー機能
 - セットする 29
 - タイマで自動的にセットする 30
 - 留守機能とトーキー機能を
両方セットする 29
- ツールセイバ 32,62
- 【ナ行】
 - 内蔵メッセージ 17
 - 内蔵メモリ
 - すべて消去する 59
- 【ハ行】
 - バックアップ
 - 応答メッセージ 57,63
 - 通話中録音 56,63
 - 用件 55,63
- フォーマット 59
- フォルダボタン 11
- 保守サービス 76
- 捕捉特番
 - 上位PBX外線捕捉特番 65
 - 転送外線捕捉特番 64
 - 留守録外線捕捉特番 65
- 【マ行】
 - 無音検出 21,62
- 【ヤ行】
 - 優先フォルダ設定 51,63
 - 用件
 - 一括消去する 25,63
 - 外出先などからリモコン操作で聞く 42
 - 聞き直す 22
 - 消去する 24
 - 通話中に再生する 52
 - 転送先で聞く 38
 - 転送する 33
 - バックアップを作成する 55,63
 - ハンドセットで聞く 20,22
 - 留守を解除して用件を聞く 20
 - 録音できる時間 18,32,62
 - 用件録音時間 18,32,62
 - 用件録音/トーキー設定 29,62
 - 用件録音レベル 32,62
- 【ラ行】
 - ランプ表示 13
 - リモート操作ガード
 - 解除する 40,64
 - リモコン操作 39
 - 暗証番号を入力しないで操作する 46
 - 終了操作をしないで電話を切ったとき 39
 - 操作ができる電話機 39
 - 対話形式で操作する 42
 - 番号で操作する 43
 - 留守
 - 解除する 20
 - セットする 18
 - タイマで自動的にセットする 30,65
 - 用件を録音しないで応答メッセージを
流す 15,29

リモコン操作でセット／解除する	42,45
留守機能とトーカー機能を 両方セットする	15,29
留守機能ロックが設定されているとき 留守を解除する	66
留守機能を使えないようにロックする	28,64
留守機能データクリア	60,65
留守機能ロック	28,64
留守番機能	17
留守ボタン	11
留守モニタ設定	53,64
留守ランプ	13
留守録外線捕捉特番	65
録音	
相手とのお話しを録音する	50
応答メッセージを録音する	26
用件を録音しないようにする	18,29
用件を録音できる時間	18,32,62
留守機能ロックが設定されているとき 応答メッセージを録音する	66
録音が満杯になったとき	19,67
録音IP電話機取扱説明書ダイジェスト	77
録音先フォルダ消去	25,51,63
録音時間	18,32,62
録音ボタン	11

仕様／保守サービスのご案内

■仕様

寸法・質量	幅約185 mm×奥行き約259 mm×高さ約95 mm・約980 g
電磁波妨害	VCCI基準クラスAに適合
使用環境	温度：5～35℃ 湿度：45～80%（結露のないこと）
録音時間	最大録音時間：約2時間（通話中録音、応答メッセージを含む）

■保守サービスのご案内

●保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので「保証書」は大切に保管してください。保証書は主装置等に添付されています。

（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。

当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	●毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	●修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ●当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要となります。

●故障の場合は

故障した場合のお問い合わせは局番なしの113番へご連絡ください。

●その他

定額保守サービス料金については、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：☎ 0120-970413

※携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は
03-5667-7100（通話料金がかかります）

受付時間 9：00～21：00

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：☎ 0120-248995

受付時間 9：00～21：00

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意ください。












●補修用部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しています。

必ず「取扱説明書」をよく読み理解したうえでお使いください。

記号説明									
	ハンドセットを取りあげます	ハンドセットを置きます	着信音が聞こえます	各機能ボタンを押します	ダイヤルボタンを押します	ハンドセットでお話します			

留守番機能を使う

項目	操作手順		参照
留守の準備	応答メッセージ1 (応答メッセージ2)	録音  → 1 (応答メッセージ1) または 2 (応答メッセージ2) → 2 (録音) →  → 応答メッセージを話す →  → 停止 → 	P26
		再生  → 1 (応答メッセージ1) または 2 (応答メッセージ2) → 1 (再生) → 再生される	P26
		消去  → 1 (応答メッセージ1) または 2 (応答メッセージ2) → 3 (消去) → 1 (はい)	P26
外出時に	応答メッセージ1で留守をセットする	 → 1 (応答メッセージ1) → クリア 長く押す → 	P18
	応答メッセージ2で留守をセットする	 → 2 (応答メッセージ2) → クリア 長く押す → 	P18
帰宅時に	留守中の用件を聞く	 → (用件が録音されているとき) 再生される	P20

通話中の機能

項目	操作手順	参照
通話中のお話しを録音する（通話中録音）	お話し中に → 録音される	P50
通話中録音を再生する	→ → または (SDカード利用時は ~) → 再生される	P51
録音されている用件をお話し中の相手の方と聞く（通話中再生）	お話し中に → 再生される	P52
相手確かめてから電話に出る（留守応答）	留守応答録音中に相手の方の声を確認して →	P53

転送を設定する

項目	操作手順	参照
転送先の電話番号を登録する	→ → → → → → → → (転送先電話番号) → →	P34
転送機能をセットする (必ず転送先番号を登録してからセットしてください)	→ → → → → (有り)	P36
転送先で用件を受ける	→ → 長めに押す → → → → (暗証番号) → → 再生される → → → →	P38

*上下ボタンを使ってメニューや機能を選択し、を押す操作を繰り返すことによって、各登録・設定の画面を表示させることもできます。

留守番機能の登録・設定

項目	操作手順	参照
用件録音時間設定	メニュー → 3 ^{DEF} 1 ^あ 1 ^あ → 1 ^あ ~ 5 ^{SKL}	P62
用件録音/ トーカー設定	<p><用件録音></p> メニュー → 3 ^{DEF} 1 ^あ 2 ^{ABC} → 0 ^{PRG} <p><トーカー></p> メニュー → 3 ^{DEF} 1 ^あ 2 ^{ABC} → 1 ^あ または 2 ^{ABC} → トーカー再生モード 0 ^{PRG} または 1 ^あ	P62
自動応答時間設定	メニュー → 3 ^{DEF} 1 ^あ 3 ^{DEF} → 0 ^{PRG} ~ 9 ^{WVZ}	P62
自動応答回線設定	メニュー → 3 ^{DEF} 1 ^あ 4 ^{GRH} → <input type="checkbox"/> (外線) または <input type="checkbox"/> (内線) → 0 ^{PRG} または 1 ^あ	P62
アキュムレート録音 設定	メニュー → 3 ^{DEF} 1 ^あ 5 ^{SKL} → 0 ^{PRG} または 1 ^あ	P62
無音検出設定	メニュー → 3 ^{DEF} 1 ^あ 6 ^{WNO} → 0 ^{PRG} または 1 ^あ	P62
応答メッセージ録音 時間設定	メニュー → 3 ^{DEF} 1 ^あ 7 ^{PRRS} → 0 ^{PRG} または 1 ^あ	P62
用件録音レベル設定	メニュー → 3 ^{DEF} 1 ^あ 8 ^{FLV} → 1 ^あ ~ 5 ^{SKL}	P62
優先フォルダ設定	メニュー → 3 ^{DEF} 2 ^{ABC} 1 ^あ → 0 ^{PRG} または 1 ^あ	P63
録音先フォルダ消去	メニュー → 3 ^{DEF} 2 ^{ABC} 2 ^{ABC} → 0 ^{PRG} ~ 3 ^{DEF} (SDカード利用時は 0 ^{PRG} ~ 5 ^{SKL}) → 1 ^あ → (決定)	P63
用件ファイル バックアップ	SDカードを差し込む → メニュー → 3 ^{DEF} 2 ^{ABC} 3 ^{DEF} → 1 ^あ → (決定)	P63
通話中録音ファイル バックアップ	SDカードを差し込む → メニュー → 3 ^{DEF} 2 ^{ABC} 4 ^{GRH} → 1 ^あ または 2 ^{ABC} → 1 ^あ → (決定)	P63
フォーマット	メニュー → 3 ^{DEF} 2 ^{ABC} 5 ^{SKL} → 1 ^あ (SDカード利用時は 1 ^あ または 2 ^{ABC}) → 1 ^あ → (決定)	P63

* 上下ボタンを使ってメニューや機能を選択し、(決定)を押す操作を繰り返すことによって、各登録・設定の画面を表示させることもできます。

項目	操作手順	参照												
応答メッセージ バックアップ	SDカードを差し込む → <input type="button" value="メニュー"/> → <input type="button" value="3 DEF"/> → <input type="button" value="2 ABC"/> → <input type="button" value="6 MNG"/> → <input type="button" value="1 A"/> → <input type="button" value="1 A"/> → <input type="button" value="決定"/>	P63												
応答メッセージリストア	SDカードを差し込む → <input type="button" value="メニュー"/> → <input type="button" value="3 DEF"/> → <input type="button" value="2 ABC"/> → <input type="button" value="6 MNG"/> → <input type="button" value="2 ABC"/> → <input type="button" value="1 A"/> → <input type="button" value="決定"/>	P63												
転送有効条件設定	<input type="button" value="メニュー"/> → <input type="button" value="3 DEF"/> → <input type="button" value="3 DEF"/> → <input type="button" value="1 A"/> → <input type="button" value="3 DEF"/> → <input type="button" value="0 PEA"/> または <input type="button" value="1 A"/>	P64												
転送外線捕捉特番	<input type="button" value="メニュー"/> → <input type="button" value="3 DEF"/> → <input type="button" value="3 DEF"/> → <input type="button" value="1 A"/> → <input type="button" value="4 GH"/> → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr><tr><td>7</td><td>8</td><td>9</td></tr><tr><td>*</td><td>0</td><td>#</td></tr></table> (最大4桁) → <input type="button" value="決定"/>	1	2	3	4	5	6	7	8	9	*	0	#	P64
1	2	3												
4	5	6												
7	8	9												
*	0	#												
遅延着信応答設定	<input type="button" value="メニュー"/> → <input type="button" value="3 DEF"/> → <input type="button" value="3 DEF"/> → <input type="button" value="2 ABC"/> → <input type="button" value="0 PEA"/> または <input type="button" value="1 A"/>	P64												
留守モニタ設定	<input type="button" value="メニュー"/> → <input type="button" value="3 DEF"/> → <input type="button" value="3 DEF"/> → <input type="button" value="3 DEF"/> → <input type="button" value="0 PEA"/> または <input type="button" value="1 A"/>	P64												
暗証スキップ番号登録	<input type="button" value="メニュー"/> → <input type="button" value="3 DEF"/> → <input type="button" value="3 DEF"/> → <input type="button" value="4 GH"/> → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr><tr><td>7</td><td>8</td><td>9</td></tr><tr><td>*</td><td>0</td><td>#</td></tr></table> (最大32桁) → <input type="button" value="決定"/>	1	2	3	4	5	6	7	8	9	*	0	#	P64
1	2	3												
4	5	6												
7	8	9												
*	0	#												
留守暗証番号設定	<input type="button" value="メニュー"/> → <input type="button" value="3 DEF"/> → <input type="button" value="4 GH"/> → <input type="button" value="1 A"/> → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr><tr><td>7</td><td>8</td><td>9</td></tr><tr><td>*</td><td>0</td><td>#</td></tr></table> (3～6桁の数字) → <input type="button" value="決定"/>	1	2	3	4	5	6	7	8	9	*	0	#	P64
1	2	3												
4	5	6												
7	8	9												
*	0	#												
留守機能ロック設定	<input type="button" value="メニュー"/> → <input type="button" value="3 DEF"/> → <input type="button" value="4 GH"/> → <input type="button" value="2 ABC"/> → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr><tr><td>7</td><td>8</td><td>9</td></tr><tr><td>*</td><td>0</td><td>#</td></tr></table> (暗証番号) → <input type="button" value="決定"/> → <input type="button" value="0 PEA"/> または <input type="button" value="1 A"/>	1	2	3	4	5	6	7	8	9	*	0	#	P64
1	2	3												
4	5	6												
7	8	9												
*	0	#												
リモート操作ガード 設定	<input type="button" value="メニュー"/> → <input type="button" value="3 DEF"/> → <input type="button" value="4 GH"/> → <input type="button" value="3 DEF"/> → <input type="button" value="0 PEA"/> または <input type="button" value="1 A"/>	P64												
タイマ留守設定	<input type="button" value="メニュー"/> → <input type="button" value="3 DEF"/> → <input type="button" value="5 SKL"/> → <input type="button" value="1 A"/> → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr><tr><td>7</td><td>8</td><td>9</td></tr><tr><td>*</td><td>0</td><td>#</td></tr></table> 時刻 (4桁) (24時間制) → <input type="button" value="決定"/> → 曜日ごと <input type="button" value="0 PEA"/> ～ <input type="button" value="3 DEF"/> → <input type="button" value="決定"/>	1	2	3	4	5	6	7	8	9	*	0	#	P65
1	2	3												
4	5	6												
7	8	9												
*	0	#												
留守録外線捕捉特番	<input type="button" value="メニュー"/> → <input type="button" value="3 DEF"/> → <input type="button" value="5 SKL"/> → <input type="button" value="2 ABC"/> → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr><tr><td>7</td><td>8</td><td>9</td></tr><tr><td>*</td><td>0</td><td>#</td></tr></table> (最大4桁) → <input type="button" value="決定"/>	1	2	3	4	5	6	7	8	9	*	0	#	P65
1	2	3												
4	5	6												
7	8	9												
*	0	#												
収容外線種別設定	<input type="button" value="メニュー"/> → <input type="button" value="3 DEF"/> → <input type="button" value="5 SKL"/> → <input type="button" value="3 DEF"/> → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td> </td><td> </td></tr></table> (外線) → <input type="button" value="0 PEA"/> ～ <input type="button" value="2 ABC"/>			P65										
上位PBX外線捕捉特番	<input type="button" value="メニュー"/> → <input type="button" value="3 DEF"/> → <input type="button" value="5 SKL"/> → <input type="button" value="4 GH"/> → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr><tr><td>7</td><td>8</td><td>9</td></tr><tr><td>*</td><td>0</td><td>#</td></tr></table> (最大4桁) → <input type="button" value="決定"/>	1	2	3	4	5	6	7	8	9	*	0	#	P65
1	2	3												
4	5	6												
7	8	9												
*	0	#												
留守機能データクリア	<input type="button" value="メニュー"/> → <input type="button" value="3 DEF"/> → <input type="button" value="5 SKL"/> → <input type="button" value="5 SKL"/> → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr><tr><td>7</td><td>8</td><td>9</td></tr><tr><td>*</td><td>0</td><td>#</td></tr></table> (暗証番号) → <input type="button" value="決定"/> → <input type="button" value="0 PEA"/> または <input type="button" value="1 A"/> → <input type="button" value="決定"/>	1	2	3	4	5	6	7	8	9	*	0	#	P65
1	2	3												
4	5	6												
7	8	9												
*	0	#												

*上下ボタンを使ってメニューや機能を選択し、を押す操作を繰り返すことによって、各登録・設定の画面を表示させることもできます。

MEMO

MEMO



環境基準ラベル 「ダイナミックエコマーク」について

弊社は、循環型社会構築に向けた環境にやさしい通信機器の提供を推進するために、環境ガイドライン「<追補版>通信機器グリーン調達のためのガイドライン」を設定しております。さらに、より厳しい環境基準を満足した製品をダイナミックエコマーク認定製品と位置づけます。

ダイナミックエコマークは下記条件を満足した製品に適用します。

ダイナミックエコマーク認定基準

<環境に配慮した素材の採用>

- 弊社が指定する含有禁止物質について製品には使用しません。
- 弊社が指定する含有抑制物質については、使用を抑制するとともに物質名・量を管理します。
- 酸性雨で地中に溶け出して人体に影響がある鉛を、製品へ使用することを抑制しています。
- 焼却時にダイオキシン発生の恐れがあるPVC（ポリ塩化ビニル）、非デカブロ系難燃剤以外のハロゲン系難燃剤の製品への使用を抑制します。
- 廃棄やリサイクルのために、製品には推奨プラスチック材料（ポリスチレン等）、推奨金属材料を使用します。
- 取扱説明書等に使用する紙は再生紙を使用し、使用する印刷インキは、オゾン層破壊物質等の含有禁止物質を含まないものを使用します。

<リサイクルしやすい設計>

- 製品のリサイクル可能率を70%以上とします。
- リサイクルを容易にするため、全てのプラスチック製部品に材料名を表示し、リサイクルに支障のない方法で製品名を表示します。

<環境に配慮した梱包材>

- 発泡スチロールの使用量を削減します。

<省エネルギー>

- 省エネルギーを考慮した設計を行います。
- 国際エネルギースタープログラム対象製品は、これに準じた設計を行います。



本商品はダイナミックエコマーク認定製品です。



この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。 環境を考えて大豆インクを使用しています

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報などを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：<http://web116.jp/ced/>
<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

使い方等で不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センターへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センター

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： **0120-970413**

※携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は
03-5667-7100（通話料金がかかります）

受付時間 9：00～21：00

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： **0120-248995**

受付時間 9：00～21：00

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

©2009 NTEAST・NTTWEST



本3023-3(2009.5)
NX-RECIPTTELトリセツ-〈1〉